

令和 3 年度

旭川市食育に関するアンケート調査結果報告書

令和 4 年（2022 年）2 月

旭川市保健所保健指導課

調査概要

1 調査目的

第3次旭川市食育推進計画は平成29年度から令和4年度までの6カ年計画（当初5カ年）となっているが、その評価及び次期計画策定における基礎資料を得るとともに、効果的な食育推進施策を推進するため、旭川市食育に関するアンケート調査を実施した。

2 調査項目

次の9分野、30項目について実施した。

- | | |
|--------------------------|--------|
| (1) 回答者の属性 | (5項目) |
| (2) 食育に関する意識について | (2項目) |
| (3) 現在の食生活について | (14項目) |
| (4) 農業体験について | (1項目) |
| (5) 食文化について | (2項目) |
| (6) 環境への配慮について | (1項目) |
| (7) 産地や生産者への意識について | (2項目) |
| (8) 食品ロスについて | (2項目) |
| (9) 新型コロナウイルス感染症と食生活について | (1項目) |

3 調査対象

旭川市民のうち20歳から79歳までの男女3,200人

※住民基本台帳（2021年10月）から、性別、年代、地域の比率を基に無作為抽出。

4 調査期間

令和3年11月1日（月）から11月30日（火）まで

5 調査方法

- | | |
|------------|--|
| (1) 調査対象地域 | 旭川市全域 |
| (2) 調査対象者 | 旭川市民のうち20歳から79歳までの男女3,200人
(旭川市栄養調査と同時実施) |
| (3) 抽出方法 | 住民基本台帳から無作為抽出 |
| (4) 調査方法 | 調査票の郵送によるアンケート調査 |
| (5) 調査期間 | 令和3年11月1日（月）から11月30日（火）まで |

6 回収結果

(1) 発送数	3, 2 0 0 人
(2) 回収数	1, 0 6 1 人
(3) 有効回答数	1, 0 6 1 人
(4) 有効回答率	3 3. 2 %

7 調査結果の表し方

- (1) 調査結果の数値は回答者数（人）及び回答率（％）で示している。回答率の母数はその質問項目に該当する回答者の数であり，その数はnで示している。
- (2) 回答率（％）は小数点第1位までを表記しているため，100％にならない項目がある。
- (3) 複数の回答を求める設問は各選択肢の割合の合計が100％を超える場合がある。
- (4) 性別や年齢層ごとの調査結果は，それぞれ無回答があるので，性別等の回答件数の合計は全体と一致しない場合がある。
- (5) 回答者の性別及び年齢構成は同時に実施した旭川市栄養調査において回答されたものを活用した。
- (6) 調査結果にある「R 3 年度市調査結果」は「令和 3 年度旭川市食育に関するアンケート調査」の結果を，「R 2 年度（または，R 1 年度）農林水産省調査結果」は令和 2 年度（または令和 1 年度）に農林水産省消費・安全局消費者行政・食育課が実施した「食育に関する意識調査」の結果を，「R 2 年度消費者庁調査結果」は，消費者庁消費者教育推進課食品ロス削減推進室が実施した「令和 2 年度消費者の意識に関する調査」の結果を指している。

8 その他

令和 3 年度旭川市栄養調査と同時に実施した。

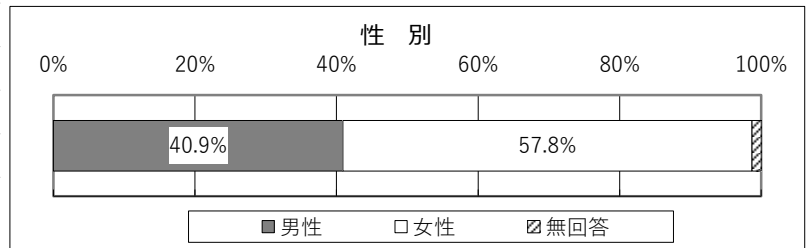
調査結果（項目別分析）

1 回答者の属性

(1) 性別【旭川市栄養調査結果より】

回答者1,061人のうち男性434人，女性613人，無回答14人で，性別割合は男性40.9%，女性57.8%，無回答1.3%となっている。旭川市の人口（住民基本台帳人口（20～70歳代）令和3年11月1日現在）は，男性が47.2%（114,823人），女性が52.8%（128,304人）であり，人口の男女構成比からみると，回答者は女性の割合が高い。

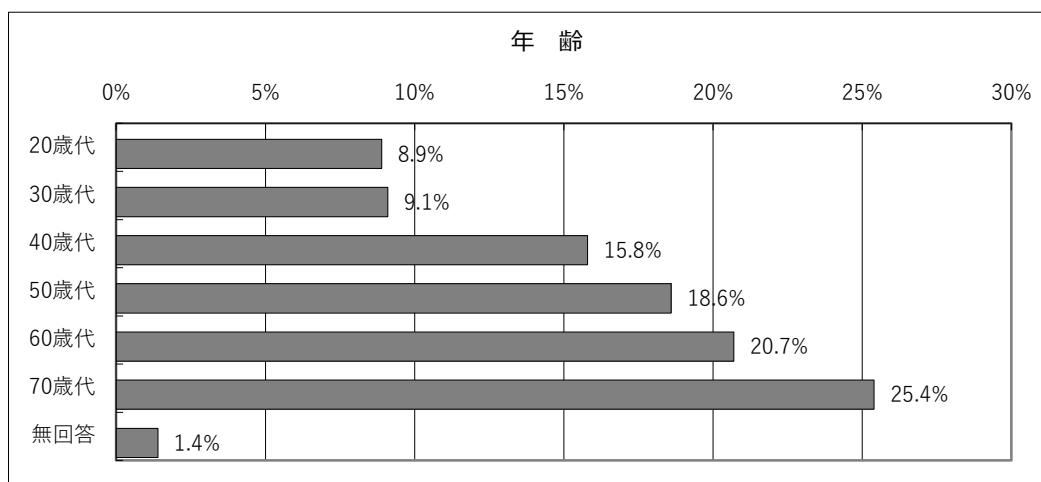
男性	434	40.9%
女性	613	57.8%
無回答	14	1.3%
合計	1,061	100.0%



(2) 年齢構成【旭川市栄養調査結果より】

回答者の年齢構成をみると，70歳代が25.4%，60歳代が20.7%と高くなっている。旭川市の人口年齢構成比（住民基本台帳人口（20～70歳代）令和3年11月1日現在）に比べ，50歳代以降の回答割合が高い。

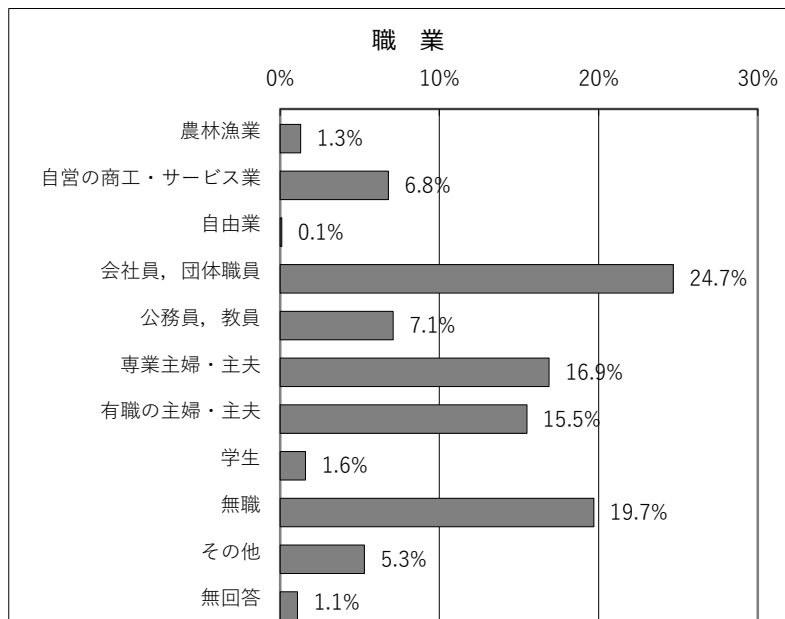
	回答		人口年齢構成比 (R3.11.1)
20歳代	94	8.9%	10.7%
30歳代	97	9.1%	13.1%
40歳代	168	15.8%	18.4%
50歳代	197	18.6%	17.8%
60歳代	220	20.7%	18.9%
70歳代	270	25.4%	21.1%
無回答	15	1.4%	—
合計(n=1,061)	1,061	99.9%	100.0%



(3) 職業【問 1】

回答者の職業別構成比は、高い順に「会社員，団体職員」24.7%，「無職」19.7%，「専業主婦・主夫」16.9%となっており，「農林漁業」，「自由業」，「学生」の回答者は少ない。

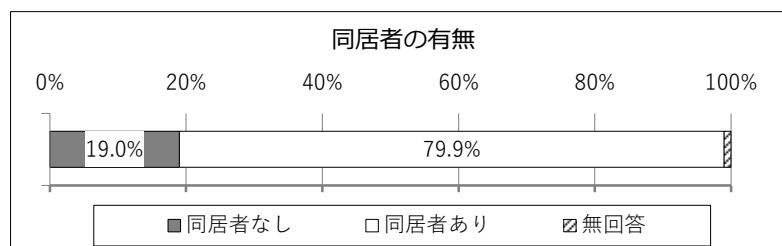
農林漁業	14	1.3%
自営の商工・サービス業	72	6.8%
自由業	1	0.1%
会社員，団体職員	262	24.7%
公務員，教員	75	7.1%
専業主婦・主夫	179	16.9%
有職の主婦・主夫	164	15.5%
学生	17	1.6%
無職	209	19.7%
その他	56	5.3%
無回答	12	1.1%
合計(n=1,061)	1,061	100.1%



(4) 同居者の有無【問 2】

回答者のうち同居者がいる人は79.9%だった。

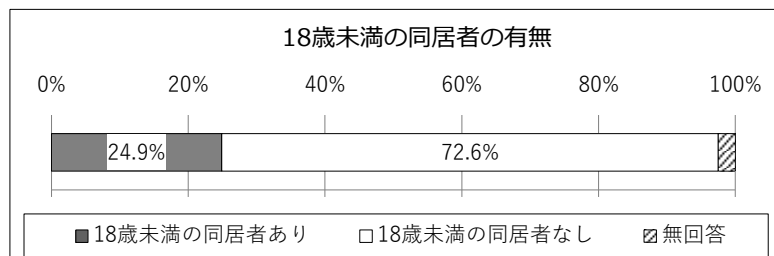
同居者なし	202	19.0%
同居者あり	848	79.9%
無回答	11	1.0%
合計(n=1,061)	1,061	99.9%



(5) 同居者の年代【問 3】

問 2 で同居者がいると回答した人のうち，18歳未満の同居者がいる人は24.9%だった。

18歳未満の同居者あり	211	24.9%
18歳未満の同居者なし	616	72.6%
無回答	21	2.5%
合計(n=848)	848	100.0%



※18歳未満の同居者あり (211人)

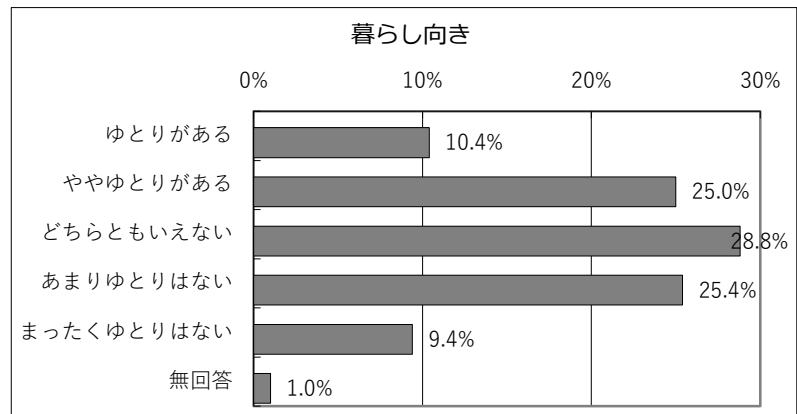
同居者の年代の選択肢のうち「1歳未満」，「満1歳から小学校就学前」，「小学生」，「中学生」，「高校生・高等専門学校生」，「それ以外の18歳未満の方」のいずれかまたは複数を選択した者

(6) 暮らし向き

問4 現在のあなたの暮らし向きはいかがですか。この中から1つ選んでください。

回答者の暮らし向きは、「どちらともいえない」が28.8%と最も高く、次いで「あまりゆとりはない」が25.4%、「ややゆとりがある」が25.0%となっている。

ゆとりがある	110	10.4%
ややゆとりがある	265	25.0%
どちらともいえない	306	28.8%
あまりゆとりはない	269	25.4%
まったくゆとりはない	100	9.4%
無回答	11	1.0%
合計(n=1,061)	1,061	100.0%

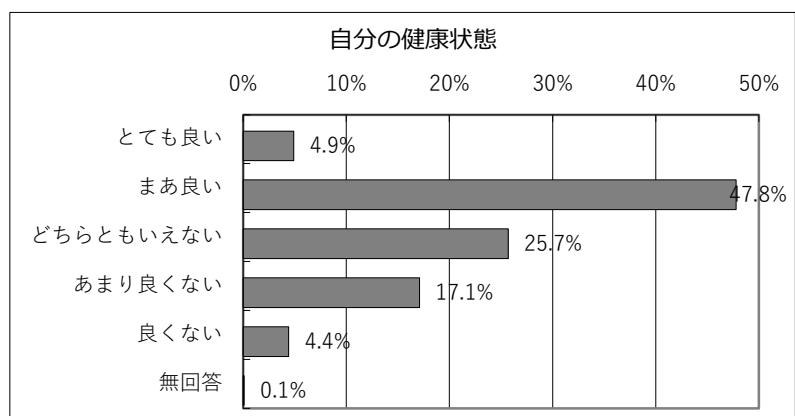


(7) 自分の健康状態

問5 あなたは自分の健康状態について、どのようにお感じですか。この中から1つ選んでください。

自分の健康状態について「とても良い」4.9%、「まあ良い」47.8%を合わせると約半数が健康状態が良好と回答している。

とても良い	52	4.9%
まあ良い	507	47.8%
どちらともいえない	273	25.7%
あまり良くない	181	17.1%
良くない	47	4.4%
無回答	1	0.1%
合計(n=1,061)	1,061	100.0%



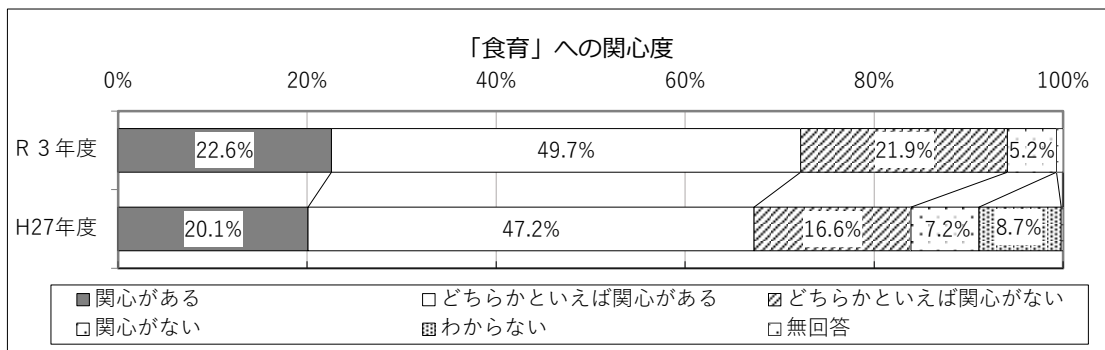
2 食育に関する意識について

(1) 食育への関心度

問6 あなたは、「食育」に関心がありますか。この中から1つ選んでください。

食育に関心がある人の割合は72.3%（「関心がある」22.6%＋「どちらかといえば関心がある」49.7%）で、H27年度市調査結果（67.3%）と比べ5.0ポイント高かった。一方、R2年度農林水産省調査結果（83.2%）と比較すると10.9ポイント低い。

	関心がある	どちらかといえば関心がある	どちらかといえば関心がない	関心がない	無回答	計
全体 (n=1,061)	240 22.6%	527 49.7%	232 21.9%	55 5.2%	7 0.7%	1,061 100.1%
関心がある（再掲）	72.3%					



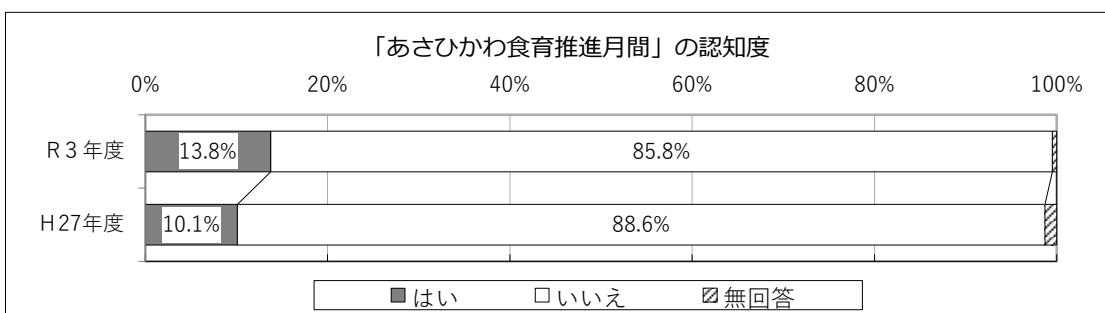
※R3年度は選択肢に「わからない」はない

(2) 「あさひかわ食育推進月間」の認知度

問7 旭川市では、平成27年から8月と9月を、「あさひかわ食育推進月間」と定めています。市内スーパーや食育イベント、保育園・学校等の給食だよりなどを通じてPRしていますが、それらを見る機会がありましたか。

見る機会があったとする人の割合は13.8%で、H27年度の結果（10.1%）と比較すると3.7ポイント高い。

	はい	いいえ	無回答	計
全体 (n=1,061)	146 13.8%	910 85.8%	5 0.5%	1,061 100.0%



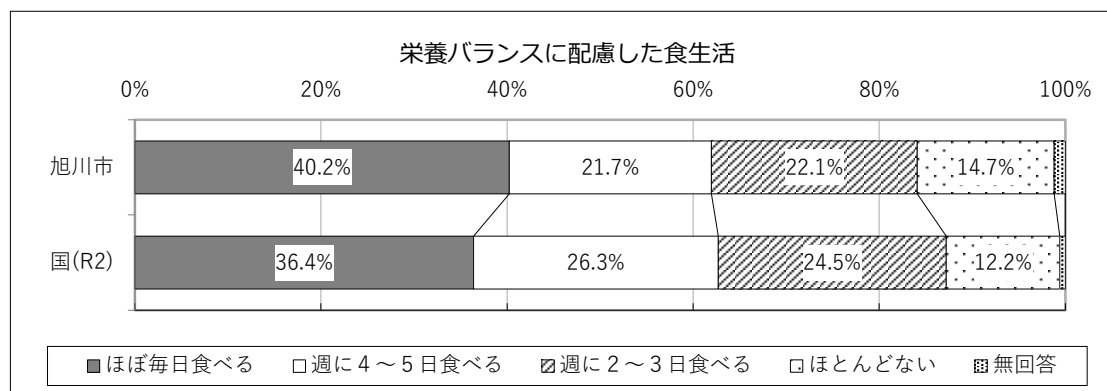
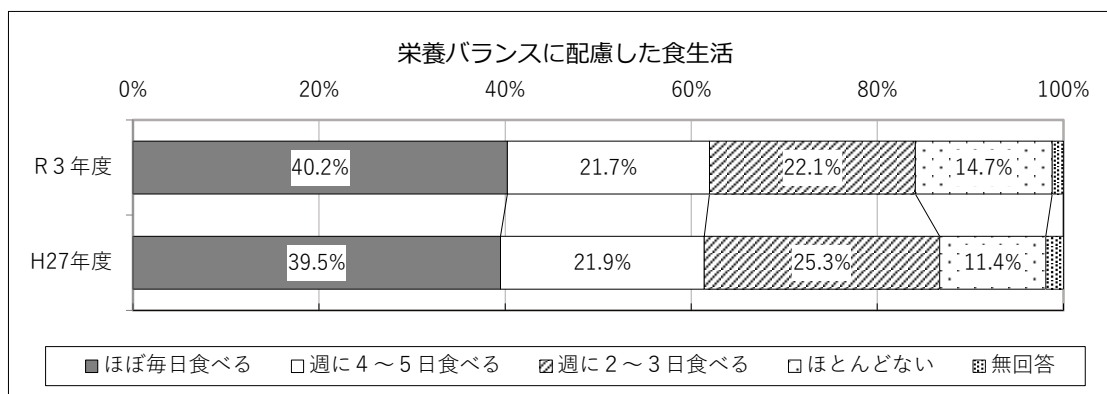
3 現在の食生活・生活習慣について

(1) 栄養バランスに配慮した食生活

問8 主食（ごはん、パン、麺など）・主菜（肉・魚・卵・大豆製品などを使ったメインの料理）・副菜（野菜・きのこ・いも・海藻などを使った小鉢・小皿の料理）をそろえて食べることが1日に2回以上あるのは週に何日ありますか。この中から1つ選んでください。

主食・主菜・副菜を3つそろえて1日に2回以上食べる頻度は、「ほぼ毎日」と回答した人が最も多く40.2%で、H27年度市市調査結果（39.5%）と比べ0.7ポイント高い。また、R2年度農林水産省調査結果（36.4%）と比較して3.8ポイント高い。

	ほぼ毎日 食べる	週に 4～5日 食べる	週に 2～3日 食べる	ほとんど ない	無回答	計
全体 (n=1,061)	427 40.2%	230 21.7%	235 22.1%	156 14.7%	13 1.2%	1,061 100.0%



(2) 栄養バランスに配慮した食事を増やすために必要なこと

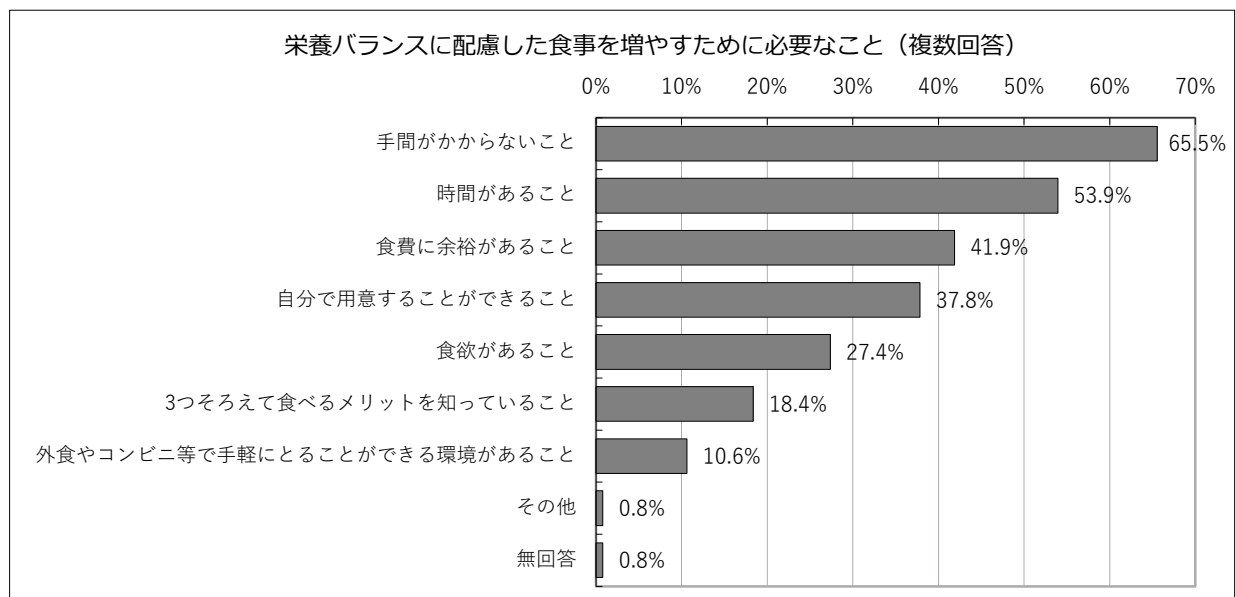
問9 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる回数を増やすためには、どのようなことが必要だと思いますか。この中から3つまで選んでください。

主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることが1日2回以上あるのは、「週に4～5日」、「週に2～3日」、「ほとんどない」と回答した人に、3つそろえて食べる回数を増やすために必要なことを聞いたところ、「手間がかからないこと」と回答する人は65.5%で最も多く、次いで「時間があること」53.9%、「食費に余裕があること」41.9%となっている。

R元年度農林水産省調査結果では「手間がかからないこと」（56.1%）と答えた人が最も多く、次いで「時間があること」（54.2%）、「食費に余裕があること」（30.0%）で、上位3項目は同じ項目であった。

	手間がかからないこと	時間があること	食費に余裕があること	自分で用意することができること	食欲があること	3つそろえて食べるメリットを知っていること	外食やコンビニ等で手軽にとることができる環境があること	その他	無回答
全体 (n=621)	407 65.5%	335 53.9%	260 41.9%	235 37.8%	170 27.4%	114 18.4%	66 10.6%	5 0.8%	5 0.8%

※回答対象者(621人) = 問8で主食・主菜・副菜をそろえて1日に2回以上食べる日数を「週に4～5日」「週に2～3日」「ほとんどない」と回答した人

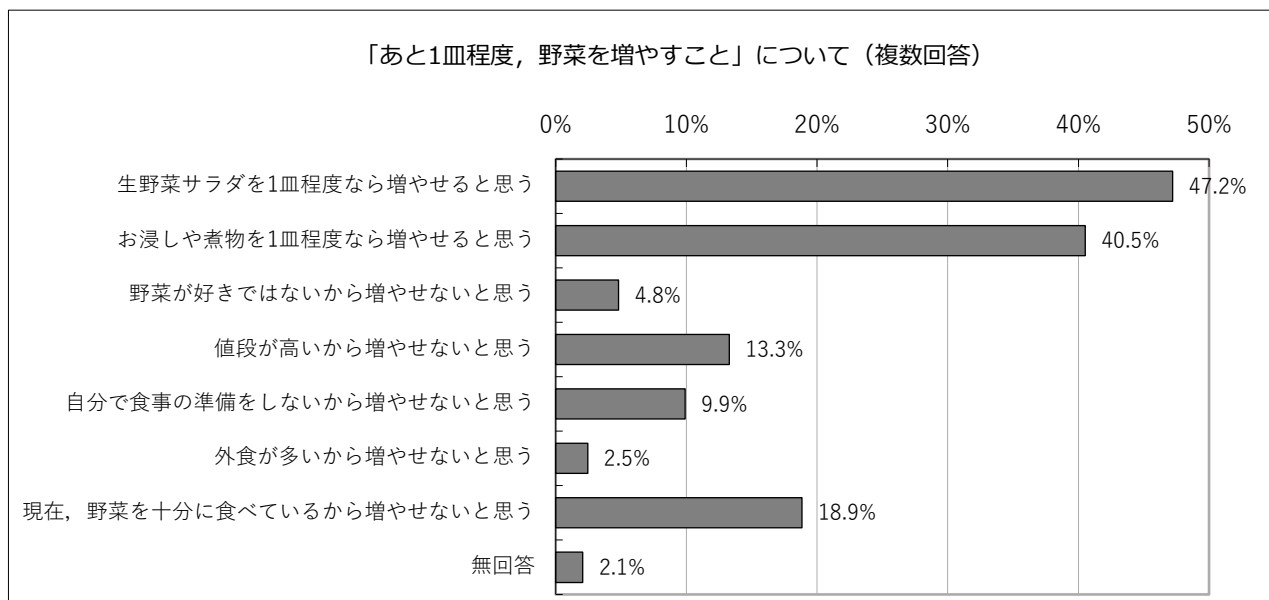


(3) 1日あたり「あと1皿程度、野菜を増やすこと」についてどう考えるか（複数回答）

問10 あなたは、ふだんの食事で1日あたり「あと1皿程度、野菜を増やすこと」についてどう考えますか。あてはまる番号をすべて選んでください。

「生野菜サラダ1皿程度なら増やせると思う」が47.2%，次いで「お浸しや煮物を1皿程度なら増やせると思う」が40.5%となっている。

	生野菜サラダを1皿程度なら増やせると思う	お浸しや煮物を1皿程度なら増やせると思う	野菜が好きではないから増やせないと思う	値段が高いから増やせないと思う	自分で食事の準備をしないから増やせないと思う	外食が多いから増やせないと思う	現在、野菜を十分に食べているから増やせないと思う	無回答
全体 (n=1,061)	501 47.2%	430 40.5%	51 4.8%	141 13.3%	105 9.9%	26 2.5%	200 18.9%	22 2.1%



(4) 3食の摂取頻度

問11 あなたはふだん、朝食、昼食、夕食を食べますか。食事区分ごとに1つずつ選び○をつけてください。

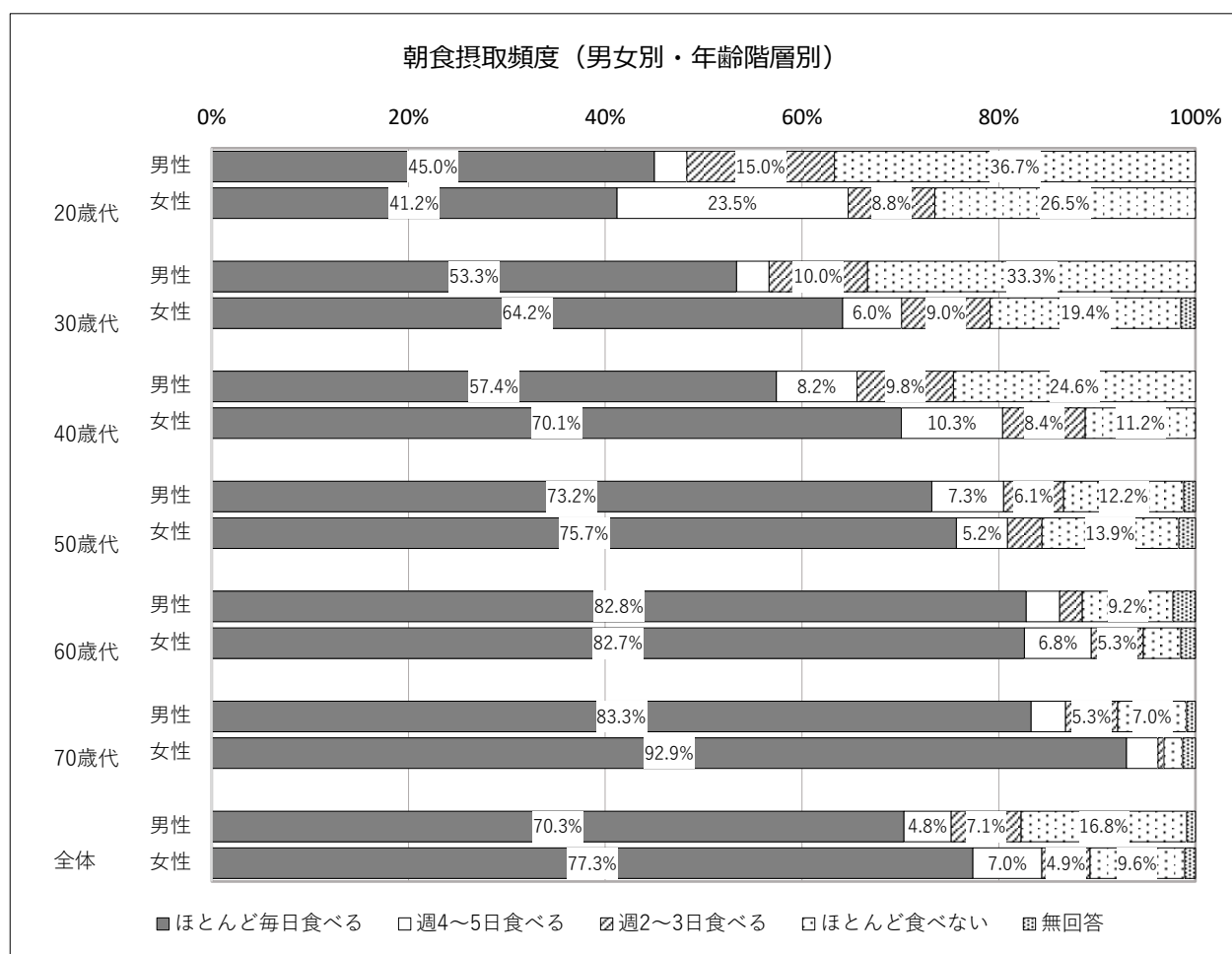
食事の摂食頻度について、朝・昼・夕のそれぞれの食事について聞いた。

朝食について、性別、年齢階層別にみた場合、「ほとんど毎日食べる」と回答した人の割合は、年代が上がるにつれて高いが、昼食及び夕食についてはその傾向はみられなかった。

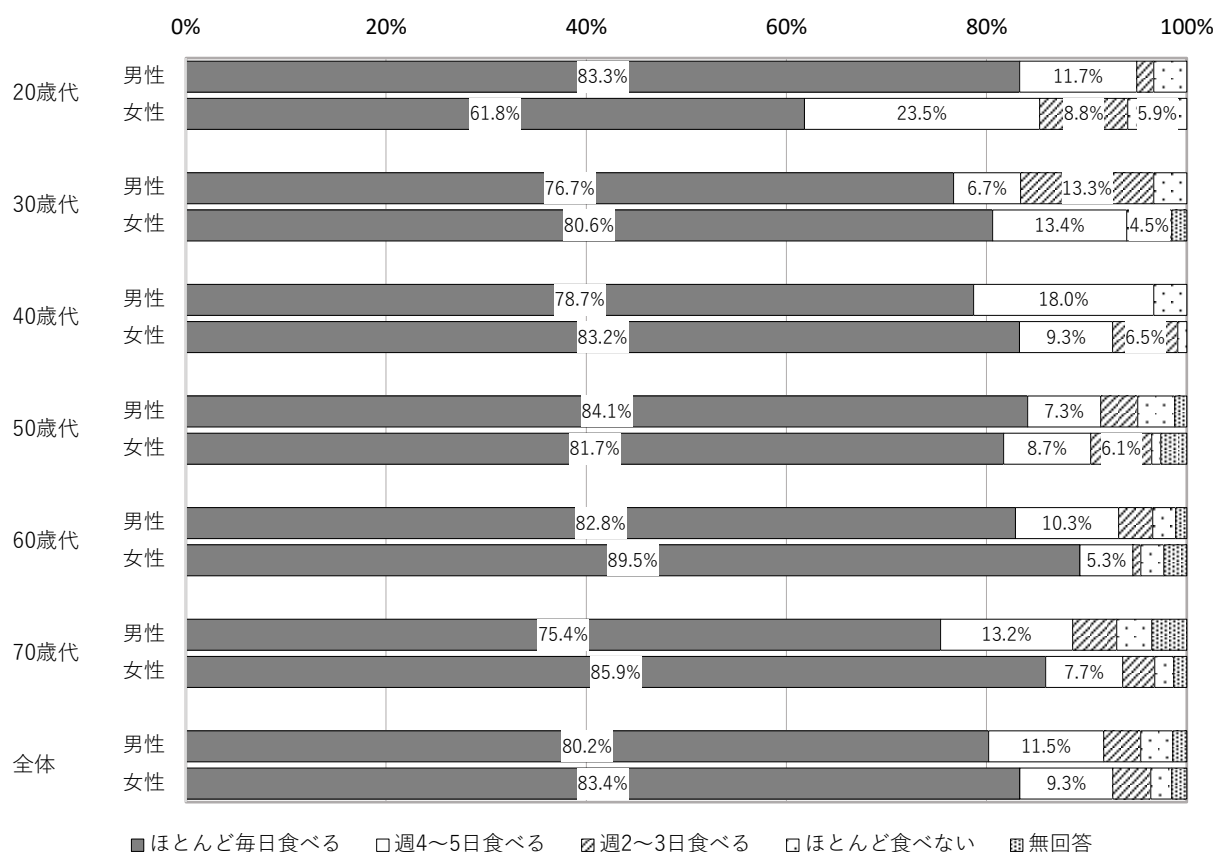
また、全体として見た場合、「ほとんど毎日食べる」と回答した人の割合は、男女ともに朝食が最も低く（男性70.3%、女性77.3%）、夕食が最も高かった（男性91.5%、女性89.9%）。

男性では、20歳代から50歳代までは、朝食を「ほとんど毎日食べる」と回答した人の割合が昼食、夕食に比べ低く、女性では、70歳代を除き、朝食を「ほとんど毎日食べる」と回答した人の割合が昼食、夕食に比べ低い。

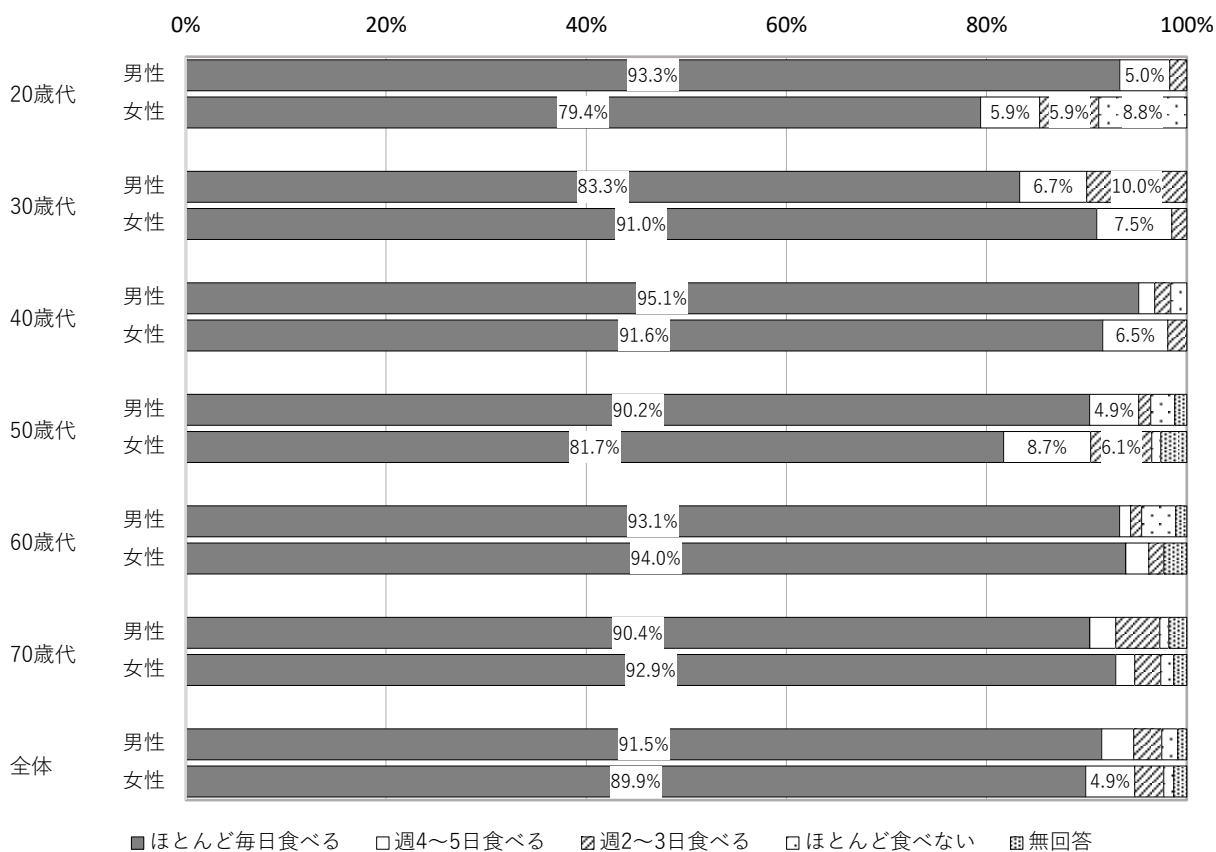
夕食を「ほとんど毎日食べる」と回答した人の割合は、いずれの年代でも朝・昼食に比べ高い。



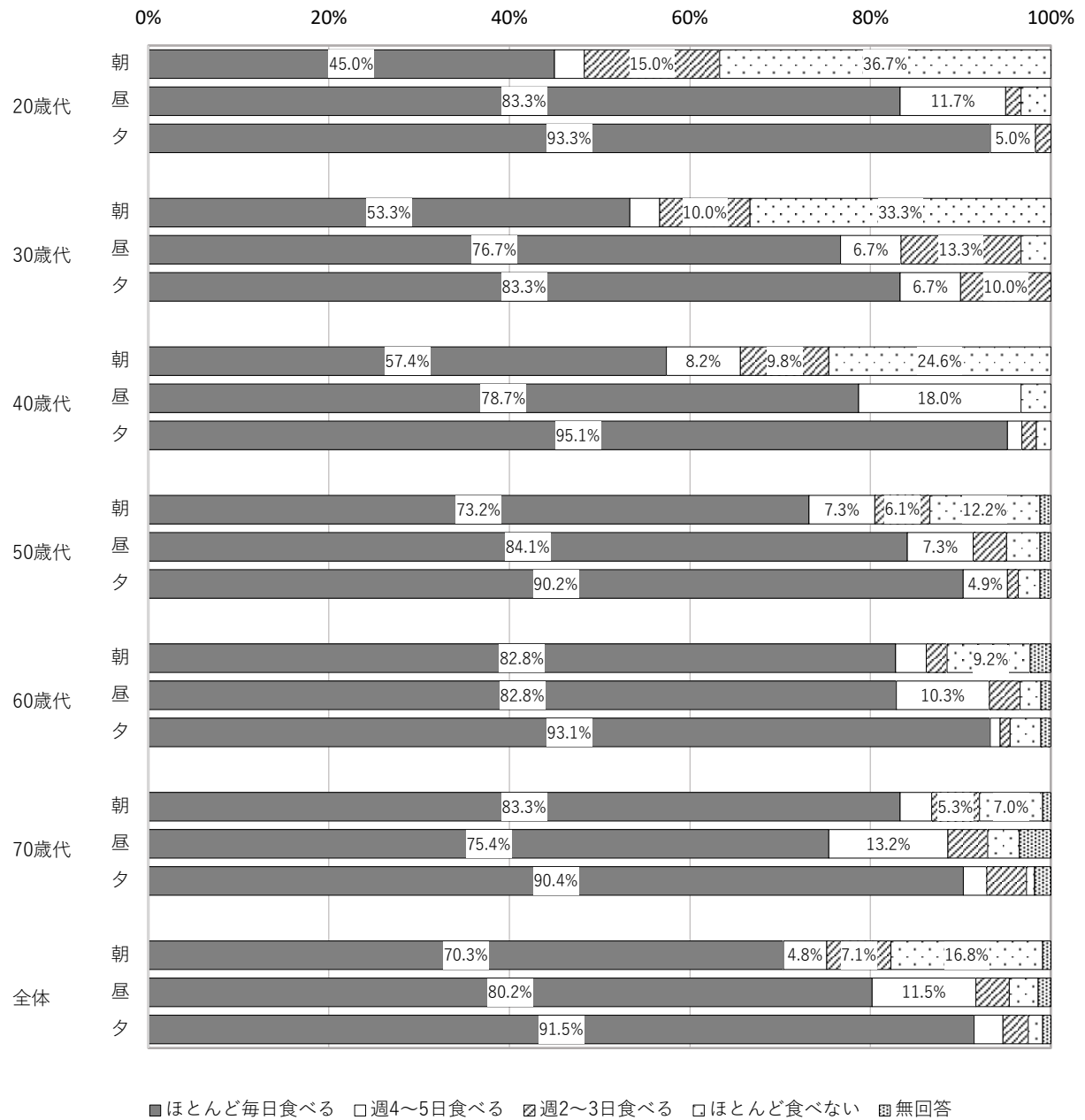
昼食摂取頻度（男女別・年齢階層別）



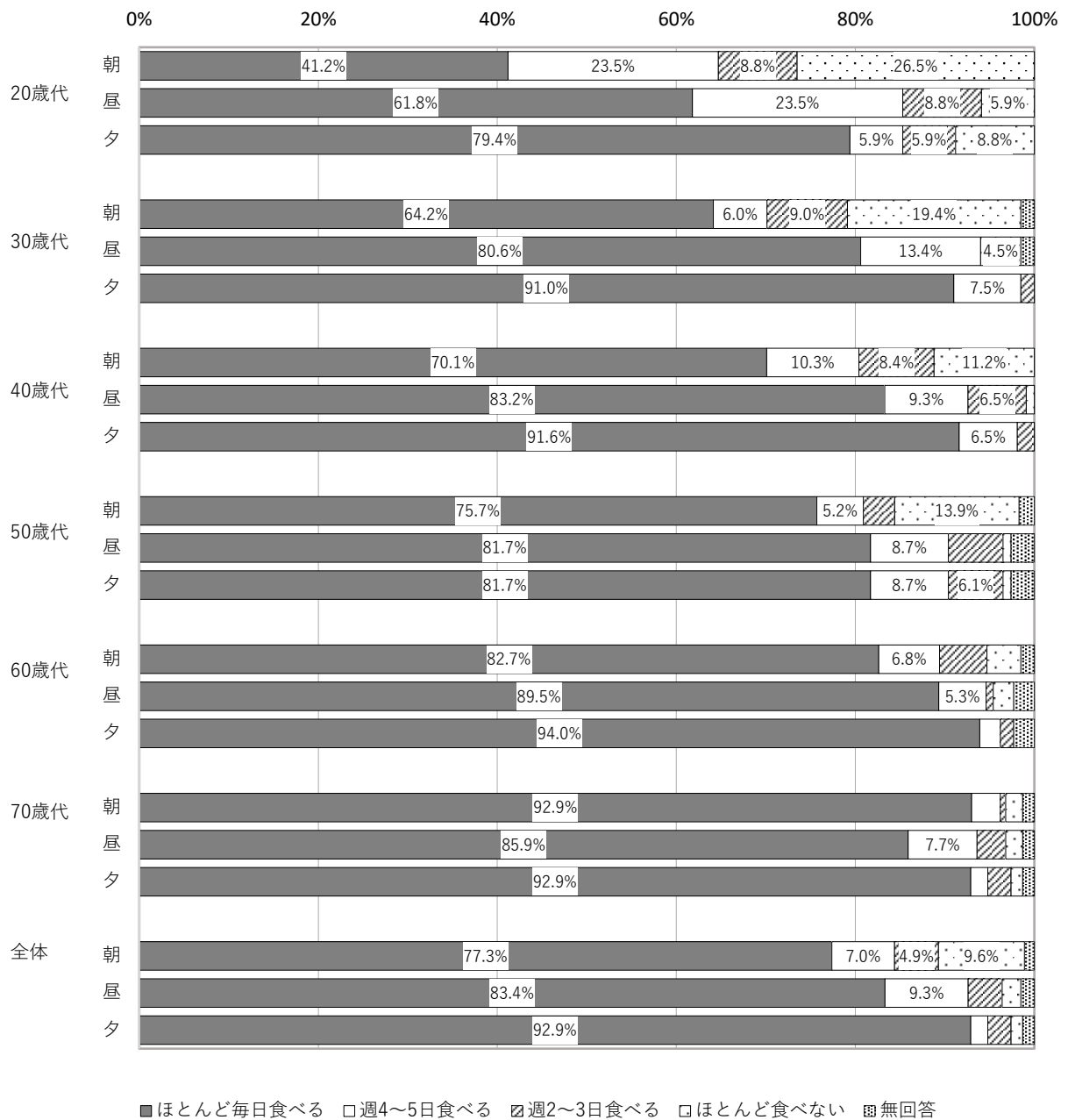
夕食摂取頻度（男女別・年齢階層別）



食事摂取頻度（男性・年齢階層別）



食事摂取頻度（女性・年齢階層別）



【朝食摂取頻度】

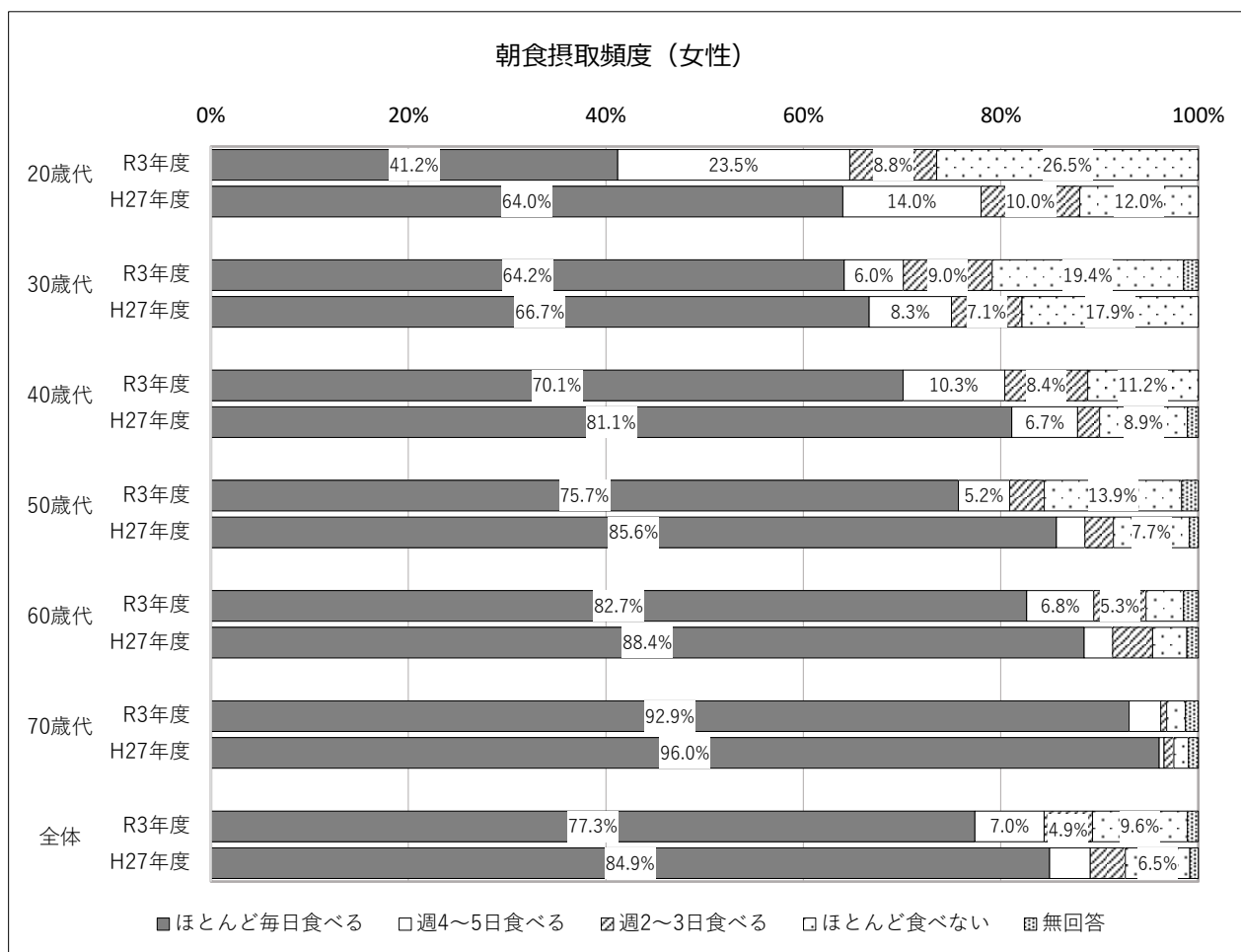
男性の朝食摂取頻度について、「ほとんど毎日食べる」と回答した人の割合は70.3%で、H27年度市調査結果（80.0%）と比べ9.7ポイント低い。R2年度農林水産省調査結果（77.4%）と比較して7.1ポイント低い、国もH26年度の結果（82.4%）と比較すると5.0ポイント下がっている。

男性	ほとんど毎日食べる	週4～5日食べる	週2～3日食べる	ほとんど食べない	無回答	計
20歳代	27 45.0%	2 3.3%	9 15.0%	22 36.7%	0 0.0%	60 100.0%
30歳代	16 53.3%	1 3.3%	3 10.0%	10 33.3%	0 0.0%	30 99.9%
40歳代	35 57.4%	5 8.2%	6 9.8%	15 24.6%	0 0.0%	61 100.0%
50歳代	60 73.2%	6 7.3%	5 6.1%	10 12.2%	1 1.2%	82 100.0%
60歳代	72 82.8%	3 3.4%	2 2.3%	8 9.2%	2 2.3%	87 100.0%
70歳代	95 83.3%	4 3.5%	6 5.3%	8 7.0%	1 0.9%	114 100.0%
全体 (n=434)	305 70.3%	21 4.8%	31 7.1%	73 16.8%	4 0.9%	434 99.9%



女性の朝食摂取頻度について、「ほとんど毎日食べる」と回答した人の割合は77.3%で、H27年度市調査結果（84.9%）と比べ7.6ポイント低い。R2年度農林水産省調査結果（84.2%）と比較して6.9ポイント低い。が、国もH26年度の結果（88.7%）と比較すると4.5ポイント低い。

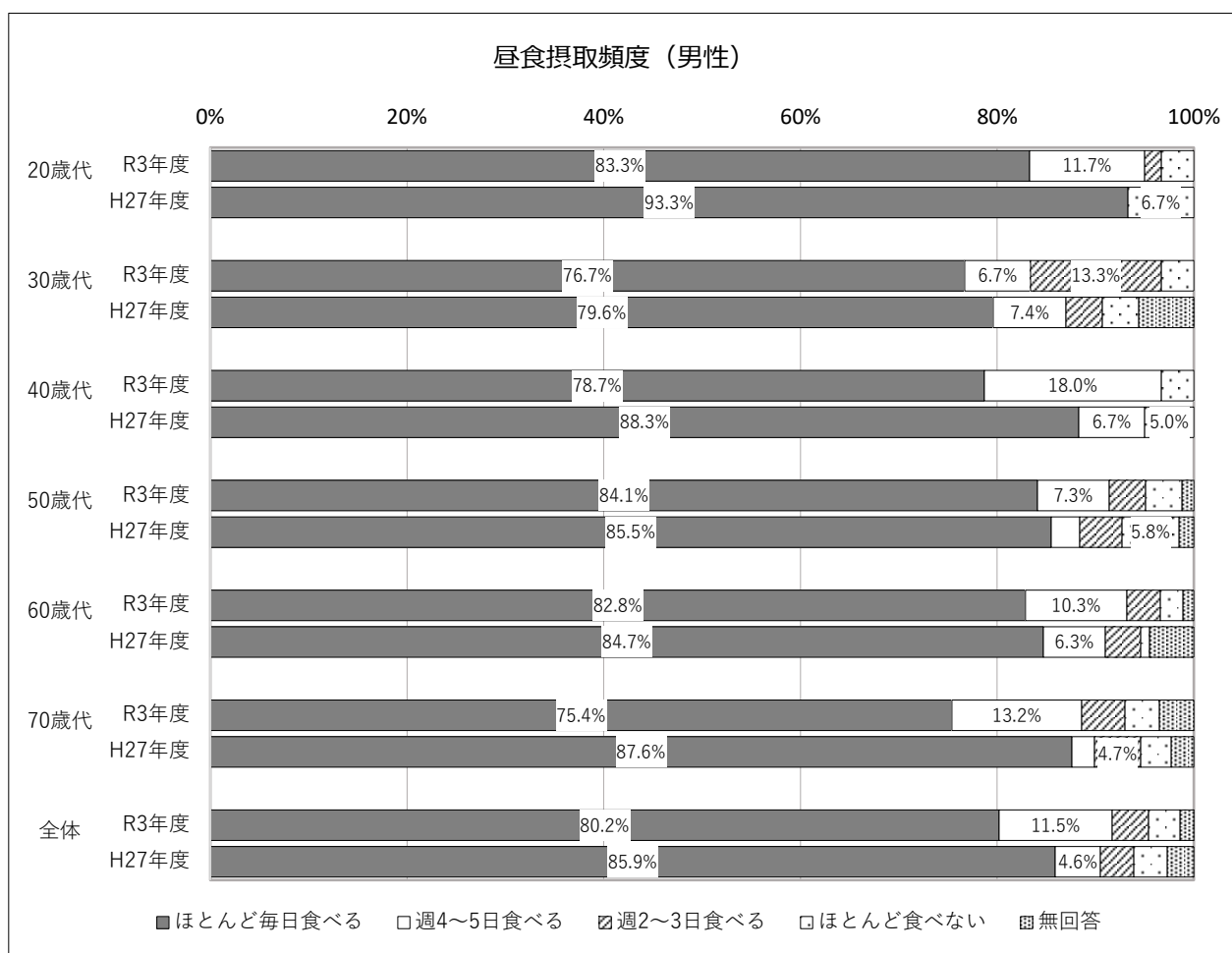
女性	ほとんど毎日食べる	週4～5日食べる	週2～3日食べる	ほとんど食べない	無回答	計
20歳代	14 41.2%	8 23.5%	3 8.8%	9 26.5%	0 0.0%	34 100.0%
30歳代	43 64.2%	4 6.0%	6 9.0%	13 19.4%	1 1.5%	67 100.1%
40歳代	75 70.1%	11 10.3%	9 8.4%	12 11.2%	0 0.0%	107 100.0%
50歳代	87 75.7%	6 5.2%	4 3.5%	16 13.9%	2 1.7%	115 100.0%
60歳代	110 82.7%	9 6.8%	7 5.3%	5 3.8%	2 1.5%	133 100.1%
70歳代	145 92.9%	5 3.2%	1 0.6%	3 1.9%	2 1.3%	156 99.9%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
全体 (n=613)	474 77.3%	43 7.0%	30 4.9%	59 9.6%	7 1.1%	613 99.9%



【昼食摂取頻度】

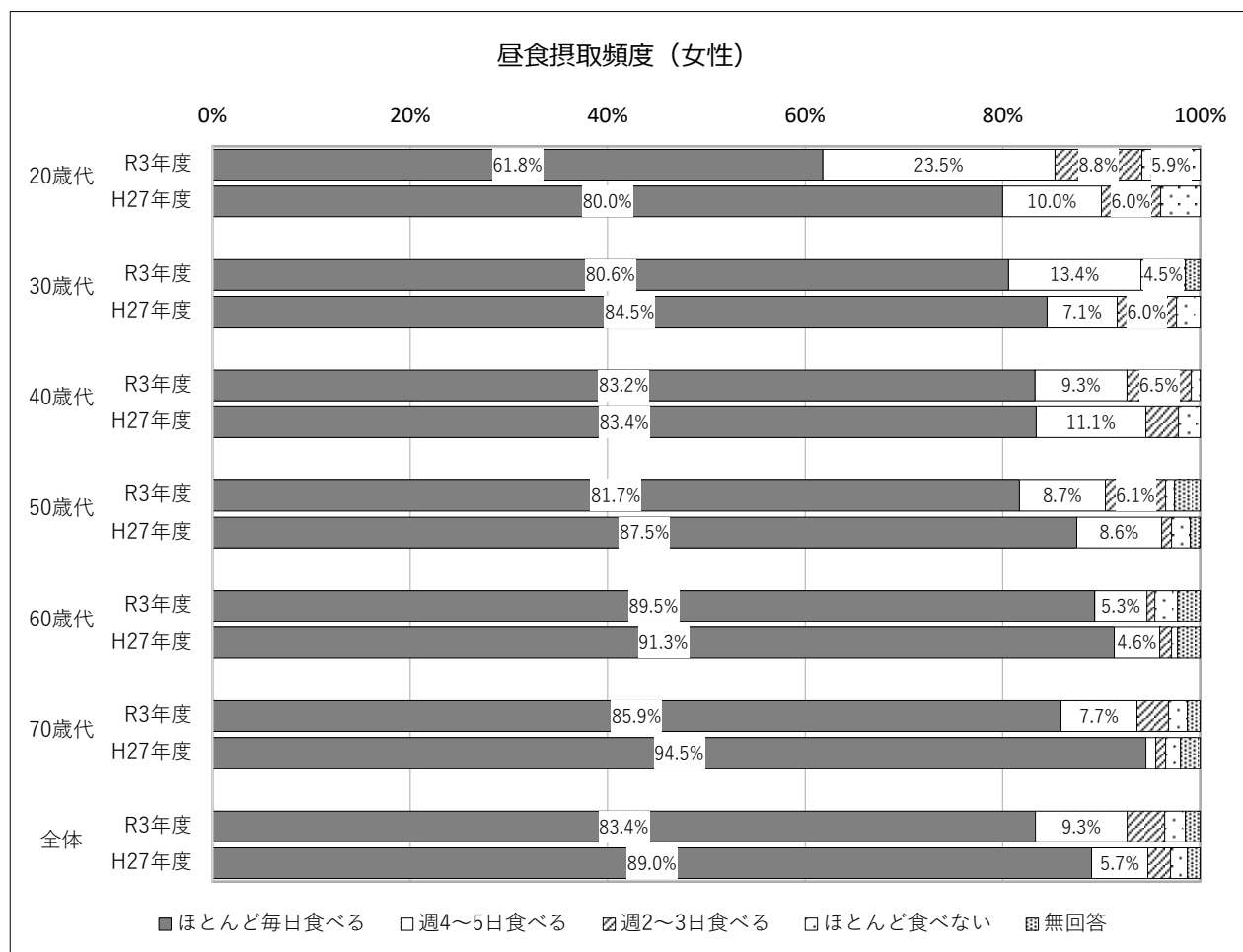
男性の昼食摂取頻度について、「ほとんど毎日食べる」と回答した人の割合は80.2%で、H27年度市調査結果（85.9%）と比べ5.7ポイント低い。

男性	ほとんど毎日食べる	週4～5日食べる	週2～3日食べる	ほとんど食べない	無回答	計
20歳代	50 83.3%	7 11.7%	1 1.7%	2 3.3%	0 0.0%	60 100.0%
30歳代	23 76.7%	2 6.7%	4 13.3%	1 3.3%	0 0.0%	30 100.0%
40歳代	48 78.7%	11 18.0%	0 0.0%	2 3.3%	0 0.0%	61 100.0%
50歳代	69 84.1%	6 7.3%	3 3.7%	3 3.7%	1 1.2%	82 100.0%
60歳代	72 82.8%	9 10.3%	3 3.4%	2 2.3%	1 1.1%	87 99.9%
70歳代	86 75.4%	15 13.2%	5 4.4%	4 3.5%	4 3.5%	114 100.0%
全体 (n=434)	348 80.2%	50 11.5%	16 3.7%	14 3.2%	6 1.4%	434 100.0%



女性の昼食摂取頻度について、「ほとんど毎日食べる」と回答した人の割合は83.4%で、H27年度市調査結果（89.0%）と比べ5.6ポイント低い。

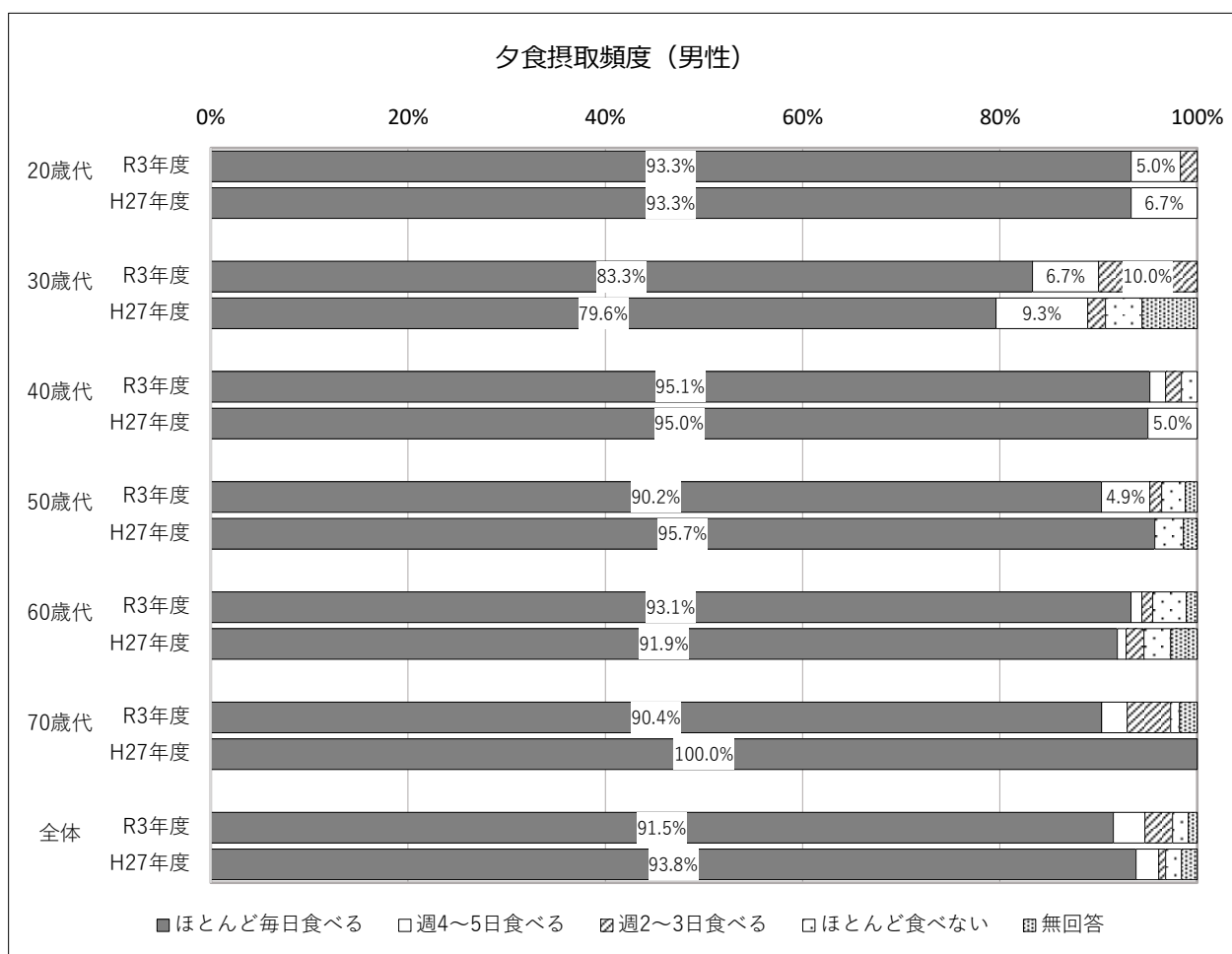
女性	ほとんど毎日食べる	週4～5日食べる	週2～3日食べる	ほとんど食べない	無回答	計
20歳代	21 61.8%	8 23.5%	3 8.8%	2 5.9%	0 0.0%	34 100.0%
30歳代	54 80.6%	9 13.4%	0 0.0%	3 4.5%	1 1.5%	67 100.0%
40歳代	89 83.2%	10 9.3%	7 6.5%	1 0.9%	0 0.0%	107 99.9%
50歳代	94 81.7%	10 8.7%	7 6.1%	1 0.9%	3 2.6%	115 100.0%
60歳代	119 89.5%	7 5.3%	1 0.8%	3 2.3%	3 2.3%	133 100.2%
70歳代	134 85.9%	12 7.7%	5 3.2%	3 1.9%	2 1.3%	156 100.0%
無回答	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
全体 (n=613)	511 83.4%	57 9.3%	23 3.8%	13 2.1%	9 1.5%	613 100.1%



【夕食摂取頻度】

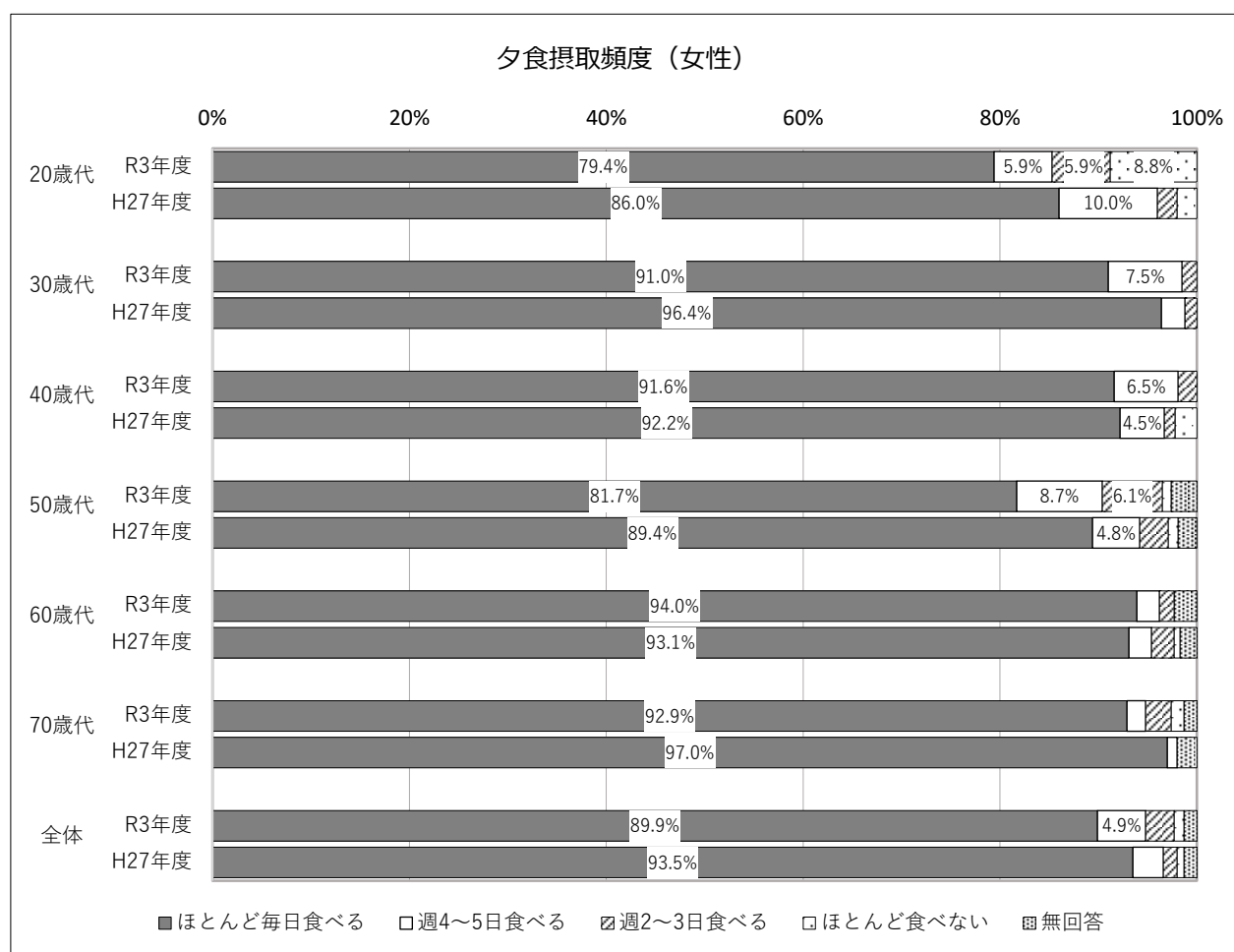
男性の夕食摂取頻度について、「ほとんど毎日食べる」と回答した人の割合は91.5%で、H27年度市調査結果（93.8%）と比べ2.3ポイント低い。

男性	ほとんど毎日食べる	週4～5日食べる	週2～3日食べる	ほとんど食べない	無回答	計
20歳代	56 93.3%	3 5.0%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	60 100.0%
30歳代	25 83.3%	2 6.7%	3 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	30 100.0%
40歳代	58 95.1%	1 1.6%	1 1.6%	1 1.6%	0 0.0%	61 100.0%
50歳代	74 90.2%	4 4.9%	1 1.2%	2 2.4%	1 1.2%	82 99.9%
60歳代	81 93.1%	1 1.1%	1 1.1%	3 3.4%	1 1.1%	87 99.8%
70歳代	103 90.4%	3 2.6%	5 4.4%	1 0.9%	2 1.8%	114 100.1%
全体 (n=434)	397 91.5%	14 3.2%	12 2.8%	7 1.6%	4 0.9%	434 100.0%



女性の夕食摂取頻度について、「ほとんど毎日食べる」と回答した人の割合は89.9%で、H27年度市調査結果（93.5%）と比べ3.6ポイント低い。

女性	ほとんど毎日食べる	週4～5日食べる	週2～3日食べる	ほとんど食べない	無回答	計
20歳代	27 79.4%	2 5.9%	2 5.9%	3 8.8%	0 0.0%	34 100.0%
30歳代	61 91.0%	5 7.5%	1 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	67 100.0%
40歳代	98 91.6%	7 6.5%	2 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	107 100.0%
50歳代	94 81.7%	10 8.7%	7 6.1%	1 0.9%	3 2.6%	115 100.0%
60歳代	125 94.0%	3 2.3%	2 1.5%	0 0.0%	3 2.3%	133 100.1%
70歳代	145 92.9%	3 1.9%	4 2.6%	2 1.3%	2 1.3%	156 100.0%
無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
全体 (n=613)	551 89.9%	30 4.9%	18 2.9%	6 1.0%	8 1.3%	613 100.0%



【3食の摂取頻度】

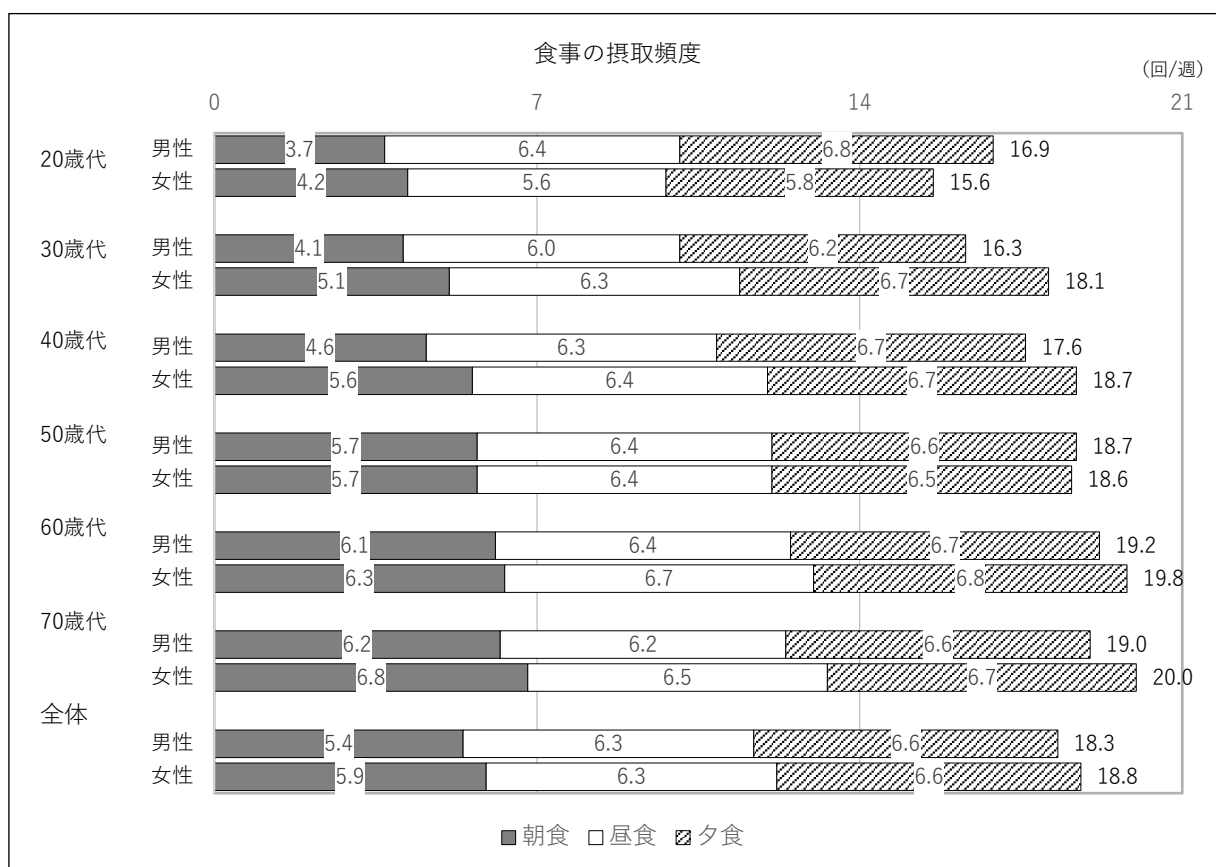
3食の摂取頻度を数的に表すと、20歳代女性が最も少なく1週間当たり15.6回、最も多いのが70歳代女性の20回。

(回/週)

男性	朝食	昼食	夕食	3食計
20歳代	3.7	6.4	6.8	16.9
30歳代	4.1	6.0	6.2	16.3
40歳代	4.6	6.3	6.7	17.6
50歳代	5.7	6.4	6.6	18.7
60歳代	6.1	6.4	6.7	19.2
70歳代	6.2	6.2	6.6	19.0
全体 (n=434)	5.4	6.3	6.6	18.3

女性	朝食	昼食	夕食	3食計
20歳代	4.2	5.6	5.8	15.6
30歳代	5.1	6.3	6.7	18.1
40歳代	5.6	6.4	6.7	18.7
50歳代	5.7	6.4	6.5	18.6
60歳代	6.3	6.7	6.8	19.8
70歳代	6.8	6.5	6.7	20.0
無回答	0.0	4.5	7.0	11.5
全体 (n=613)	5.9	6.3	6.6	18.8

※数的処理：「ほとんど毎日食べる」=7回、「週4～5日食べる」=4.5回、「週2～3日食べる」2.5回、「ほとんど食べない」=0回で算出した1週間当たりの回数



(5) 朝食を食べるために必要なこと（複数回答）

問12 朝食を食べるためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号をすべて選んでください。

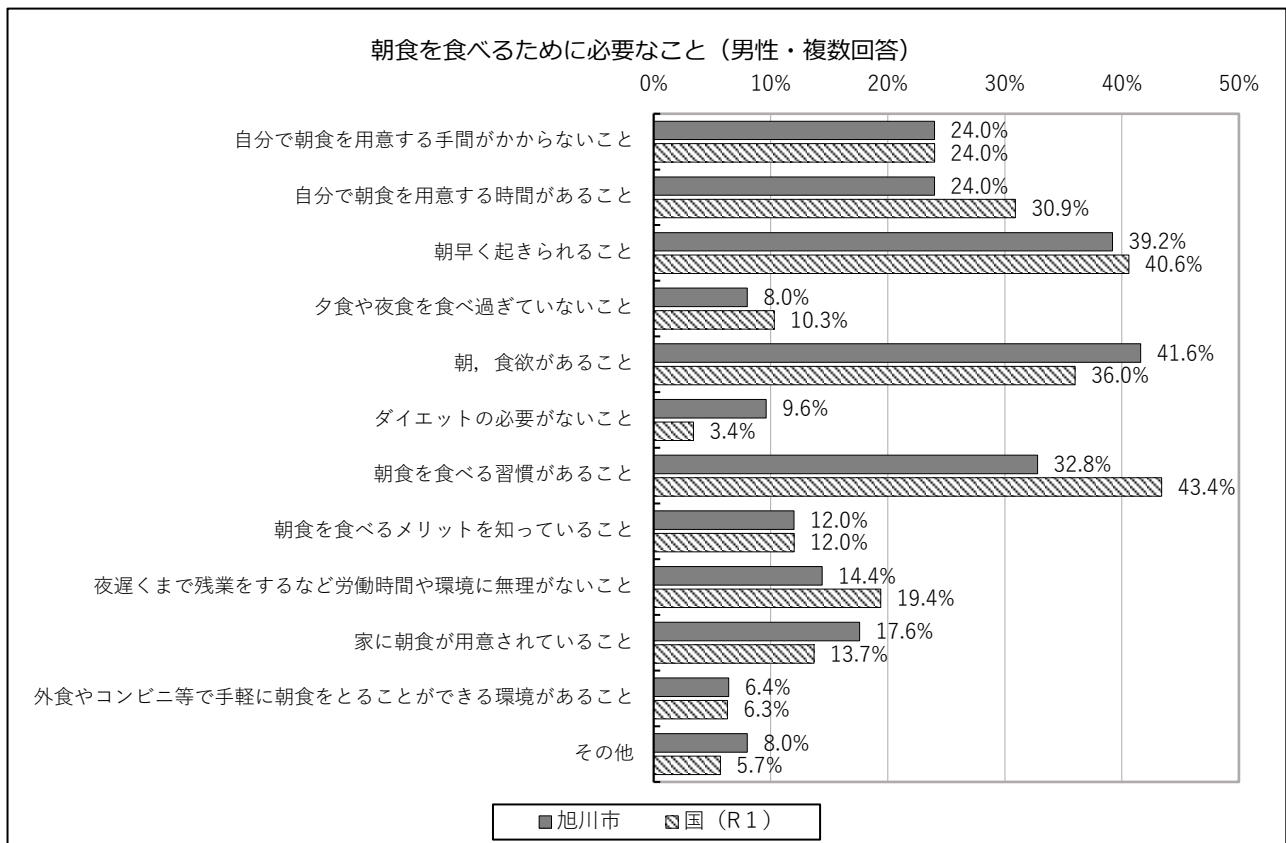
【男性】

朝食を、「週に4～5日食べる」、「週に2～3日食べる」、「ほとんど食べない」と回答した人に、朝食を食べるために必要なことを聞いたところ、「朝、食欲があること」と回答する人が最も多く41.6%で、次いで「朝早く起きられること」が39.2%となっている。

R元年度農林水産省調査結果では「朝食を食べる習慣があること」43.4%、「朝早く起きられること」40.6%が上位であった。

	自分で朝食を用意する手間がかからないこと	自分で朝食を用意する時間があること	朝早く起きられること	夕食や夜食を食べ過ぎていないこと	朝、食欲があること	ダイエットの必要がないこと	朝食を食べる習慣があること
男性 (n=125)	30 24.0%	30 24.0%	49 39.2%	10 8.0%	52 41.6%	12 9.6%	41 32.8%
	朝食を食べるメリットを知っていること	夜遅くまで残業をするなど労働時間や環境に無理がないこと	家に朝食が用意されていること	外食やコンビニ等で手軽に朝食をとることができる環境があること	その他	無回答	
	15 12.0%	18 14.4%	22 17.6%	8 6.4%	10 8.0%	1 0.8%	

※回答対象者(125人) = 問12で朝食を「週4～5日食べる」「週2～3日食べる」「ほとんど食べない」と回答した男性



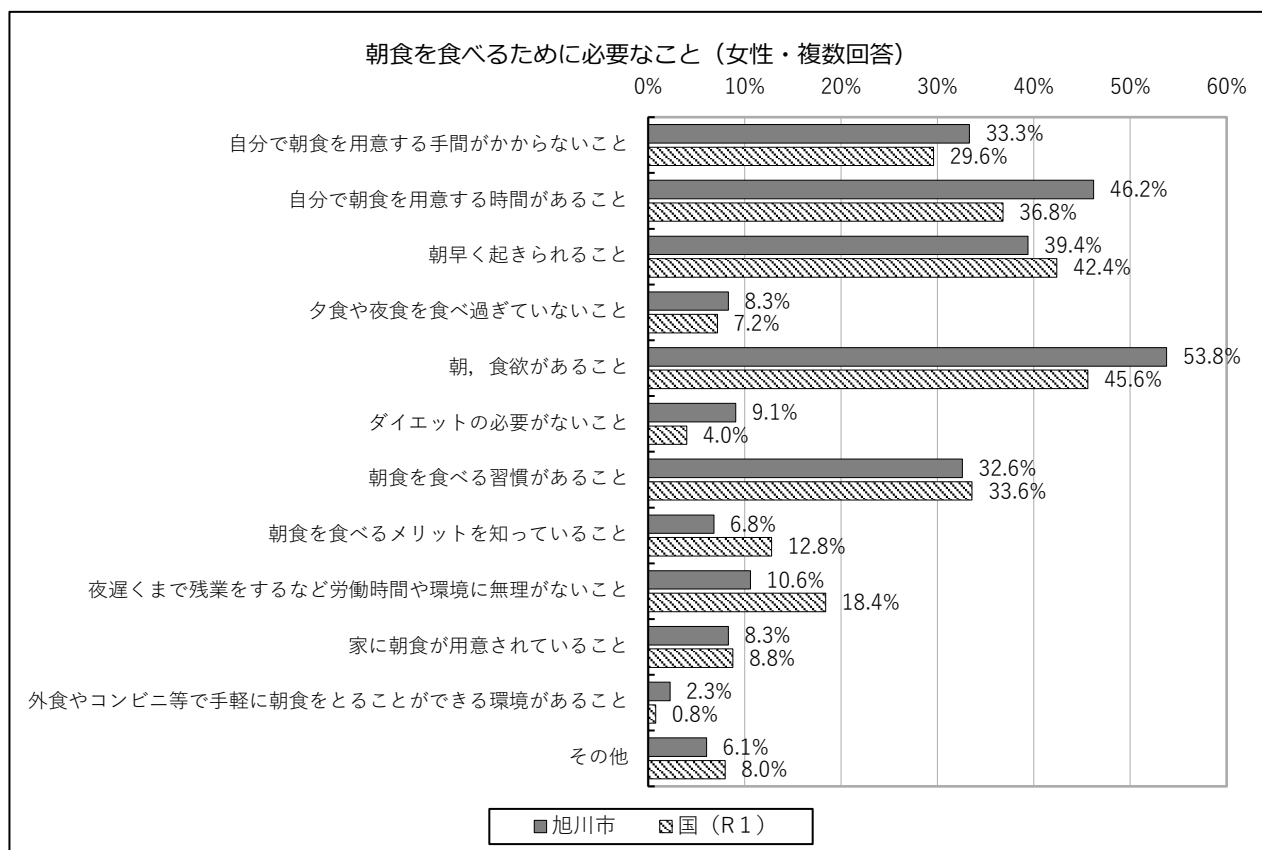
【女性】

朝食を、「週に4～5日食べる」、「週に2～3日食べる」、「ほとんど食べない」と回答した人に、朝食を食べるために必要なことを聞いたところ、「朝、食欲があること」と回答する人が最も多く53.8%で、次いで「自分で朝食を用意する時間があること」が46.2%、「朝早く起きられること」39.4%となっている。

R元年度農林水産省調査結果では「朝、食欲があること」45.6%、「朝早く起きられること」42.4%、「自分で朝食を用意する時間があること」36.8%が順位は異なるが上位は本調査と同じ項目であった。

	自分で朝食を用意する時間がかからないこと	自分で朝食を用意する時間があること	朝早く起きられること	夕食や夜食を食べ過ぎていないこと	朝、食欲があること	ダイエットの必要がないこと	朝食を食べる習慣があること
女性 (n=132)	44 33.3%	61 46.2%	52 39.4%	11 8.3%	71 53.8%	12 9.1%	43 32.6%
	朝食を食べるメリットを知っていること	夜遅くまで残業をするなど労働時間や環境に無理がないこと	家に朝食が用意されていること	外食やコンビニ等で手軽に朝食をとることができる環境があること	その他	無回答	
	9 6.8%	14 10.6%	11 8.3%	3 2.3%	8 6.1%	2 1.5%	

※回答対象者(132人)＝問12で朝食を「週4～5日食べる」「週2～3日食べる」「ほとんど食べない」と回答した女性

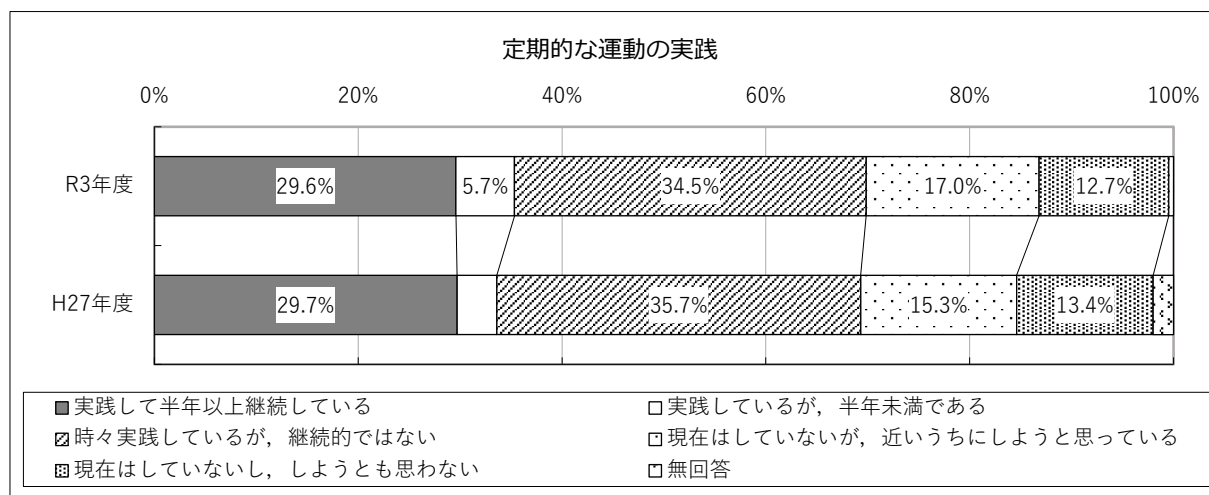


(6) 定期的な運動の実践

問13 あなたは、健康のために体操や歩くなど定期的な運動を実践していますか。この中から1つ選んでください。

「実践して半年以上継続している」とする人の割合は29.6%で、H27年度市調査結果（29.7%）とほぼ変わらない。

	実践して半年以上継続している	実践しているが、半年未満である	時々実践しているが、継続的ではない	現在はしていないが、近いうちにしようと思っている	現在はしていないし、しようとも思わない	無回答	計
全体 (n=1,061)	314 29.6%	61 5.7%	366 34.5%	180 17.0%	135 12.7%	5 0.5%	1,061 100.0%

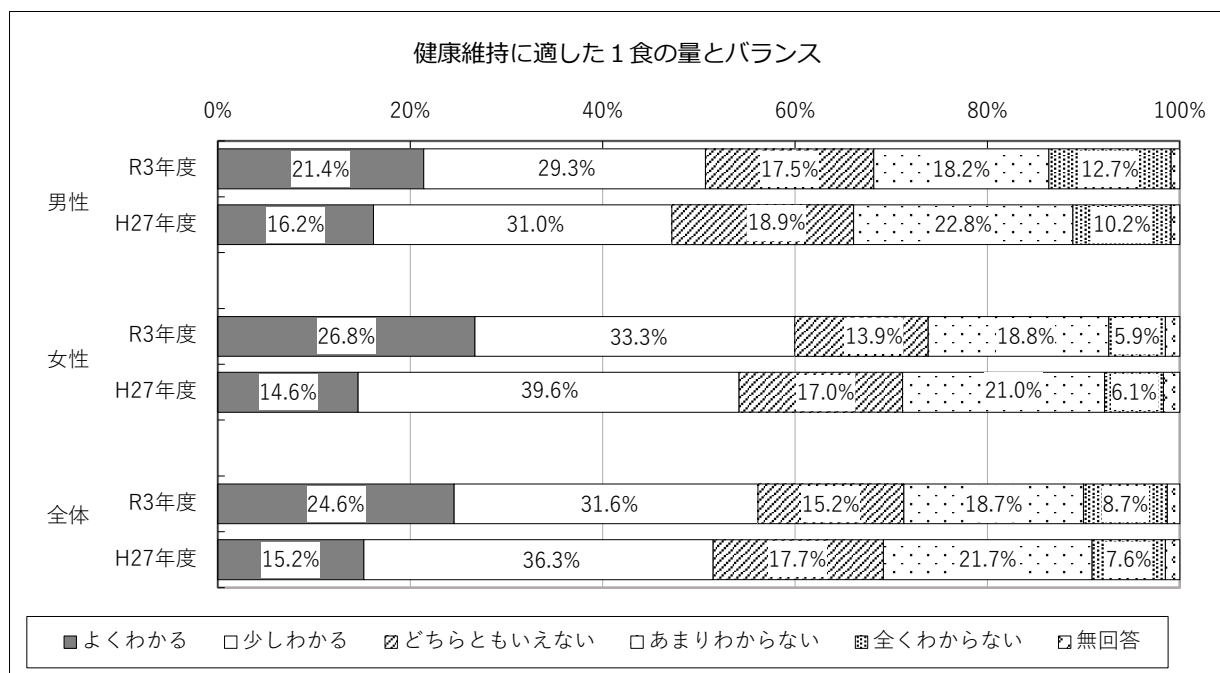


(7) 健康維持に適した1食の量とバランス

問14 あなたは、健康を維持するため（適正体重を維持するなど）、自分に適した1食の量とバランスがわかりますか。1つだけ選んでください。

「理解している人」の割合は56.2%（「よくわかる」24.6%＋「少しわかる」31.6%）で、H27年度市調査結果（51.5%）と比較して4.7ポイント高い。

	よくわかる	少しわかる	どちらとも いえない	あまりわか らない	全くわから ない	無回答	計
男性（n=434）	93 21.4%	127 29.3%	76 17.5%	79 18.2%	55 12.7%	4 0.9%	434 100.0%
理解している人（再掲）	50.7%						
女性（n=613）	164 26.8%	204 33.3%	85 13.9%	115 18.8%	36 5.9%	9 1.5%	613 100.2%
理解している人（再掲）	60.1%						
全体（n=1,061）	261 24.6%	335 31.6%	161 15.2%	198 18.7%	92 8.7%	14 1.3%	1,061 100.1%
理解している人（再掲）	56.2%		※全体には性別無回答の14人を含む				



(8) 生活習慣病予防に関する実践

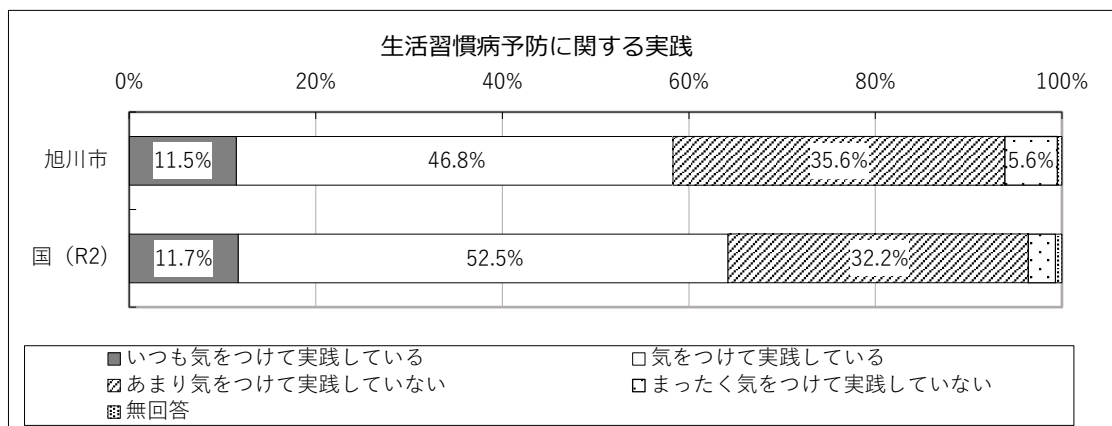
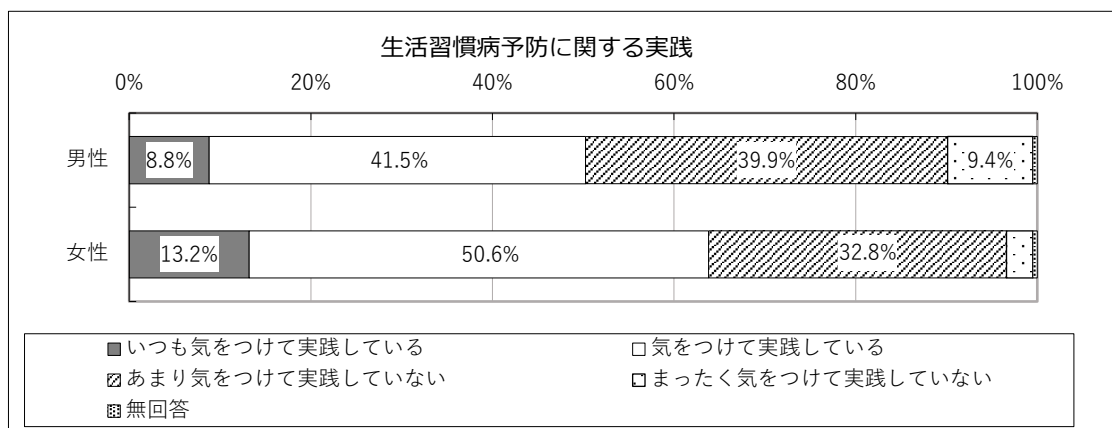
問15 生活習慣病予防のために、あなたは、ふだんから適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を実践していますか。この中から1つ選んでください。

「実践している人」の割合は58.3%（「いつも気をつけて実践している」11.5%＋「気をつけて実践している」46.8%）であった。R2年度農林水産省結果（64.2%）と比較して5.9ポイント低い。

	いつも気をつけて実践している	気をつけて実践している	あまり気をつけて実践していない	まったく気をつけて実践していない	無回答	計
男性（n=434）	38 8.8%	180 41.5%	173 39.9%	41 9.4%	2 0.5%	434 100.1%
女性（n=613）	81 13.2%	310 50.6%	201 32.8%	18 2.9%	3 0.5%	613 100.0%
全体（n=1,061）	122 11.5%	497 46.8%	378 35.6%	59 5.6%	5 0.5%	1,061 100.0%

※国は設問を「予防」のみではなく、「予防や改善」としている

※全体には性別無回答の14人を含む

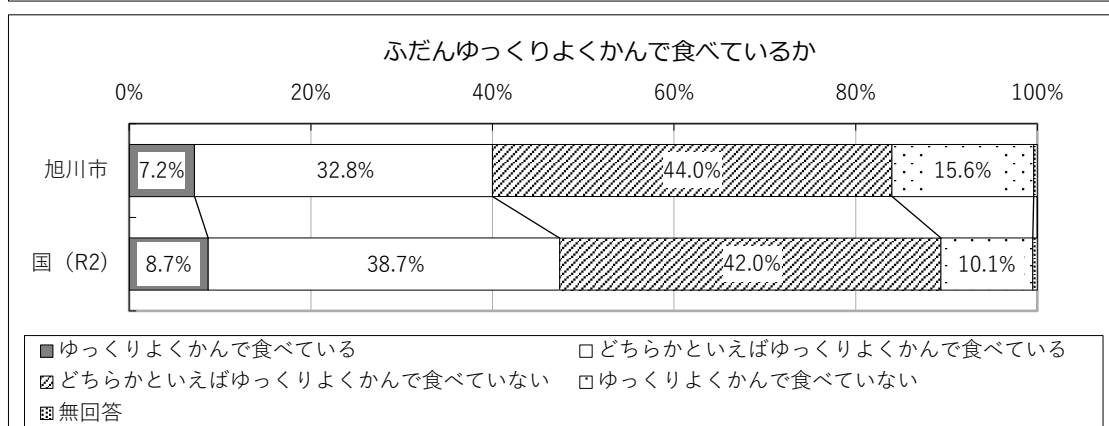
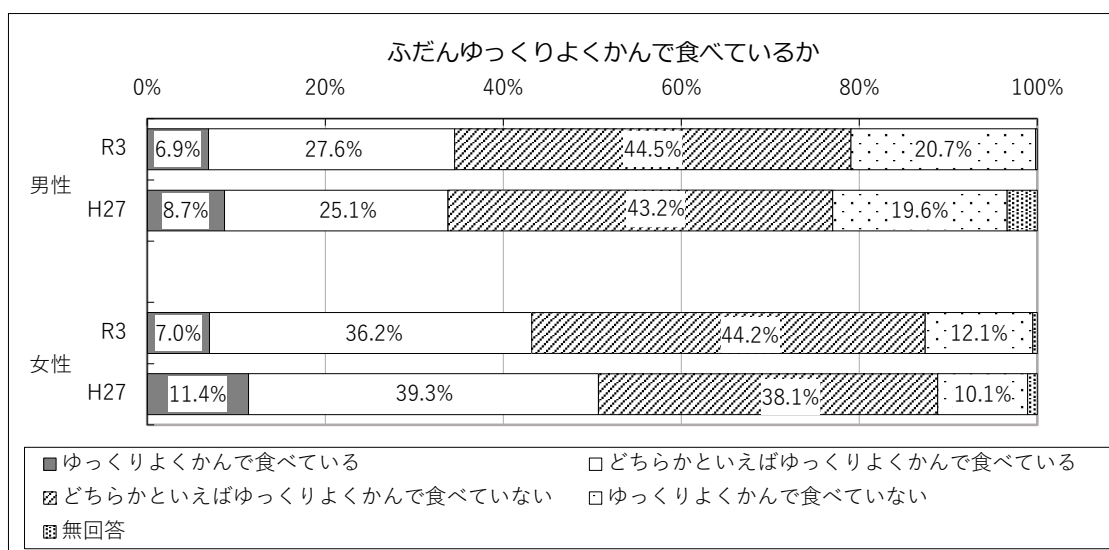


(9) ふだんゆっくりよくかんで食べているか

問16 あなたはふだんゆっくりよくかんで食べていますか。この中から1つ選んでください。

「よくかんで食べている人」の割合は40.0%（「ゆっくりよくかんで食べている」7.2%＋「どちらかといえばゆっくりよくかんで食べている」32.8%）で、R2年度農水省調査結果（47.4%）と比較して7.4ポイント低い。

	ゆっくりよくかんで食べている	どちらかといえばゆっくりよくかんで食べている	どちらかといえばゆっくりよくかんで食べていない	ゆっくりよくかんで食べていない	無回答	計
男性（n=434）	30 6.9%	120 27.6%	193 44.5%	90 20.7%	1 0.2%	434 99.9%
よくかんで食べている人（再掲）	34.5%					
女性（n=613）	43 7.0%	222 36.2%	271 44.2%	74 12.1%	3 0.5%	613 100.0%
よくかんで食べている人（再掲）	43.2%					
全体（n=1,061）	76 7.2%	348 32.8%	467 44.0%	166 15.6%	4 0.4%	1,061 100.0%
よくかんで食べている人（再掲）	40.0%		※全体には性別無回答の14人を含む			

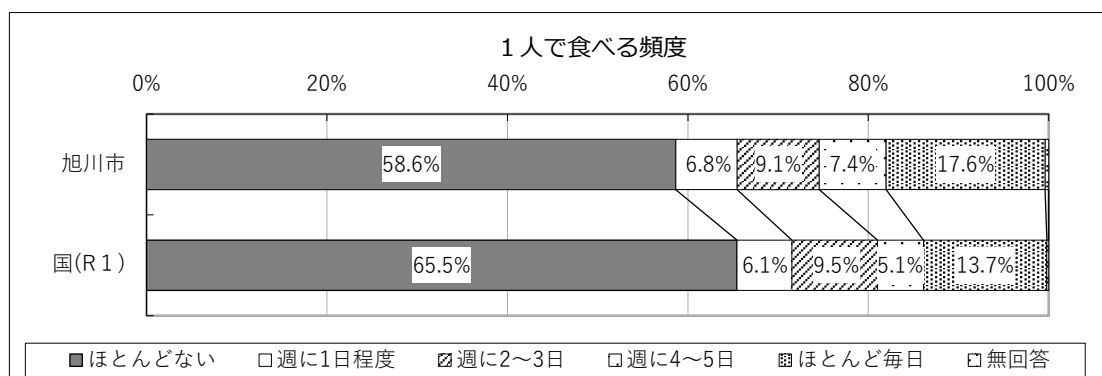


(10) 1人で食べる頻度

問17 あなたは、1日のすべての食事を1人で食べることはありますか。この中から1つ選んでください。

1日のすべての食事を1人で食べることが「ほとんどない」の割合は58.6%，4割の人は週に1日以上はすべての食事を1人で食べている。

	ほとんど ない	週に1日 程度	週に 2～3日	週に 4～5日	ほとんど 毎日	無回答	計
全体（n=1,061）	622 58.6%	72 6.8%	97 9.1%	79 7.4%	187 17.6%	4 0.4%	1,061 99.9%

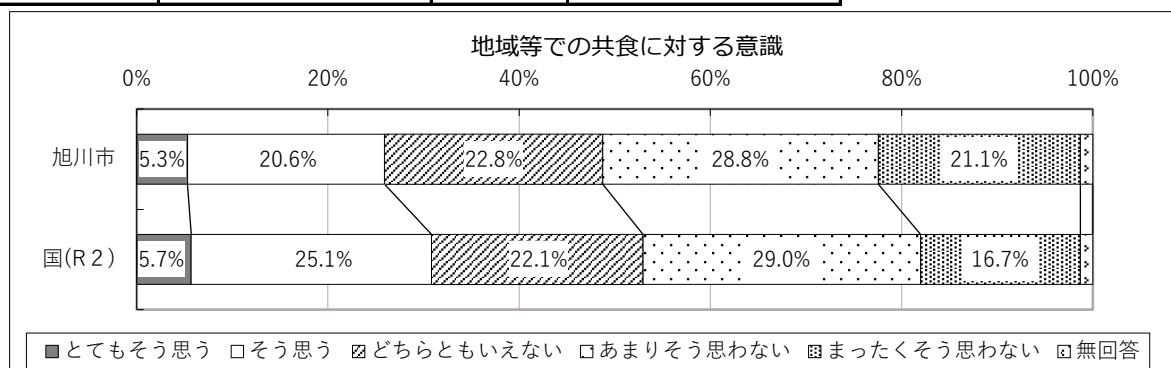


(11) 地域等での共食に対する意識

問18 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策が十分にとられているという前提でお伺いします。地域や所属コミュニティ（職場等を含む）での食事会等の機会があれば、あなたは参加したいと思いますか。この中から1つ選んでください。

「そう思う」の割合は25.9%（「とてもそう思う」5.3%＋「そう思う」20.6%），「どちらともいえない」の割合は22.8%，「そう思わない」が49.9%（「あまりそう思わない」28.8%＋「まったくそう思わない」21.1%）と半数はそう思わない。

	とても そう思う	そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	まったくそ う思わない	無回答	計
全体（n=1,061）	56 5.3%	219 20.6%	242 22.8%	306 28.8%	224 21.1%	14 1.3%	1,061 99.9%
そう思う（再掲）	25.9%		そう思わない（再掲）				
			49.9%				

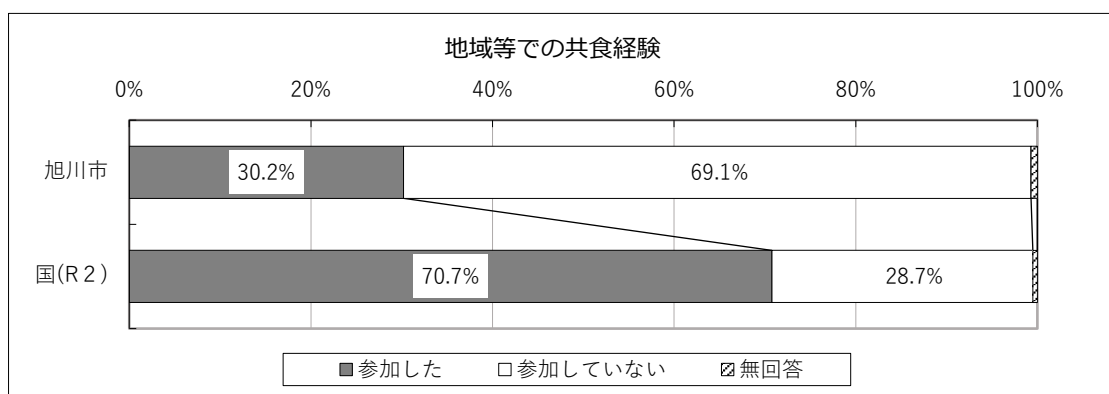


(12) 地域等での共食経験

問19 あなたは、過去1年間に、地域や所属コミュニティの食事会等に参加しましたか。

問18「地域や所属コミュニティでの食事の機会があれば、あなたは参加したいと思いますか」で、「とてもそう思う」、「そう思う」と回答した人に、食事会等に参加したかを聞いたところ、「参加した」は30.2%、R2年度農林水産省調査結果（70.7%）と比較して、40.5ポイント低かった。

	参加した	参加していない	無回答	計
全体（n=275）	83 30.2%	190 69.1%	2 0.7%	275 100.0%

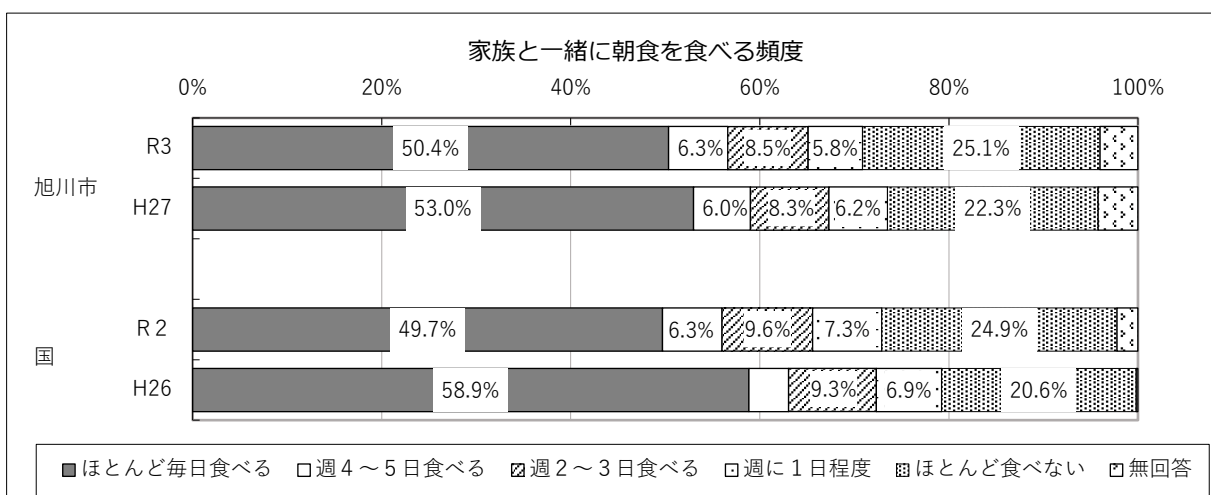


(13) 家族と一緒に食べる頻度

問20 家族と一緒に食べることはどのくらいありますか。次の朝食、夕食それぞれについてこの中から1つずつ選んでください

【朝食】

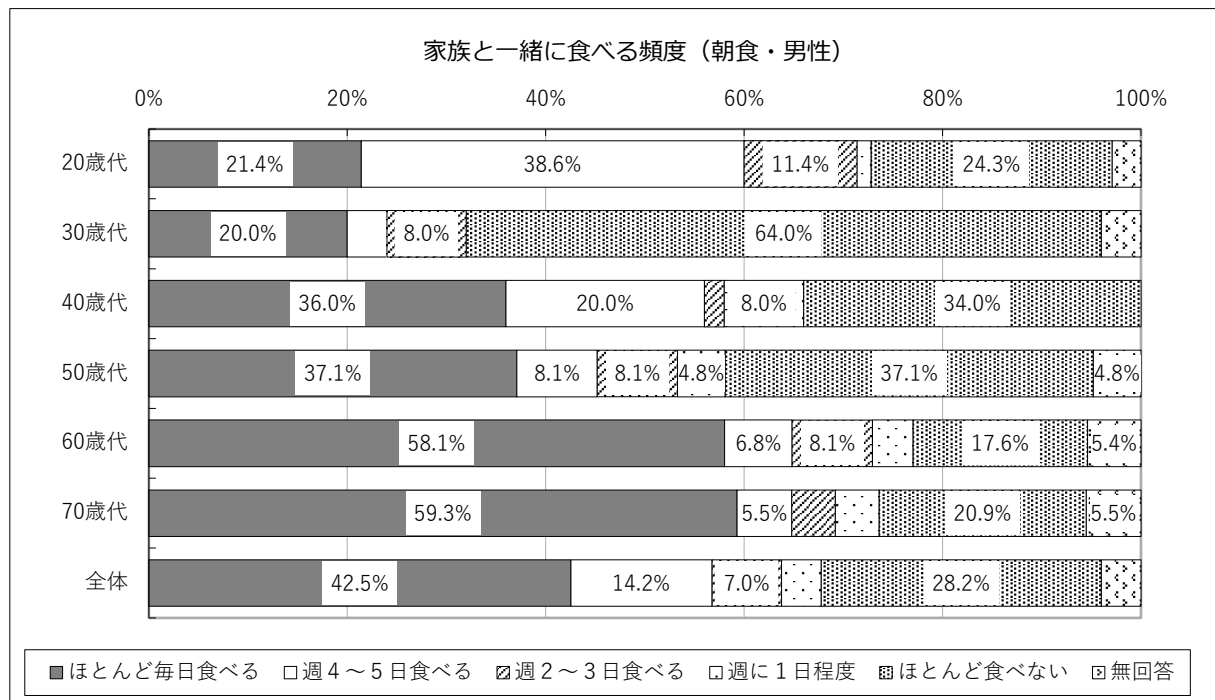
家族と同居している人が朝食と一緒に食べる頻度について、「ほとんど毎日食べる」を選択した人は、50.4%とH27年度市調査結果（53.0%）と比較して2.6ポイント低い。R2年度農林水産省調査結果（49.7%）と比較して0.7ポイント高い。



家族と同居している男性が朝食を一緒に食べる頻度について、「ほとんど毎日食べる」を選択した男性は、20～30歳代が約20％、40～50歳代が約35％、60～70歳代が約60％と年代により3区分化されていた。

男性	ほとんど毎日食べる	週4～5日食べる	週2～3日食べる	週に1日程度	ほとんど食べない	無回答	計	平均回数(回/週)
20歳代	15 21.4%	27 38.6%	8 11.4%	1 1.4%	17 24.3%	2 2.9%	70 100.0%	3.5
30歳代	5 20.0%	1 4.0%	2 8.0%	0 0.0%	16 64.0%	1 4.0%	25 100.0%	1.8
40歳代	18 36.0%	10 20.0%	1 2.0%	4 8.0%	17 34.0%	0 0.0%	50 100.0%	3.6
50歳代	23 37.1%	5 8.1%	5 8.1%	3 4.8%	23 37.1%	3 4.8%	62 100.0%	3.2
60歳代	43 58.1%	5 6.8%	6 8.1%	3 4.1%	13 17.6%	4 5.4%	74 100.1%	4.6
70歳代	54 59.3%	5 5.5%	4 4.4%	4 4.4%	19 20.9%	5 5.5%	91 100.0%	4.6
全体(n=342)	158 42.5%	53 14.2%	26 7.0%	15 4.0%	105 28.2%	15 4.0%	372 99.9%	3.8

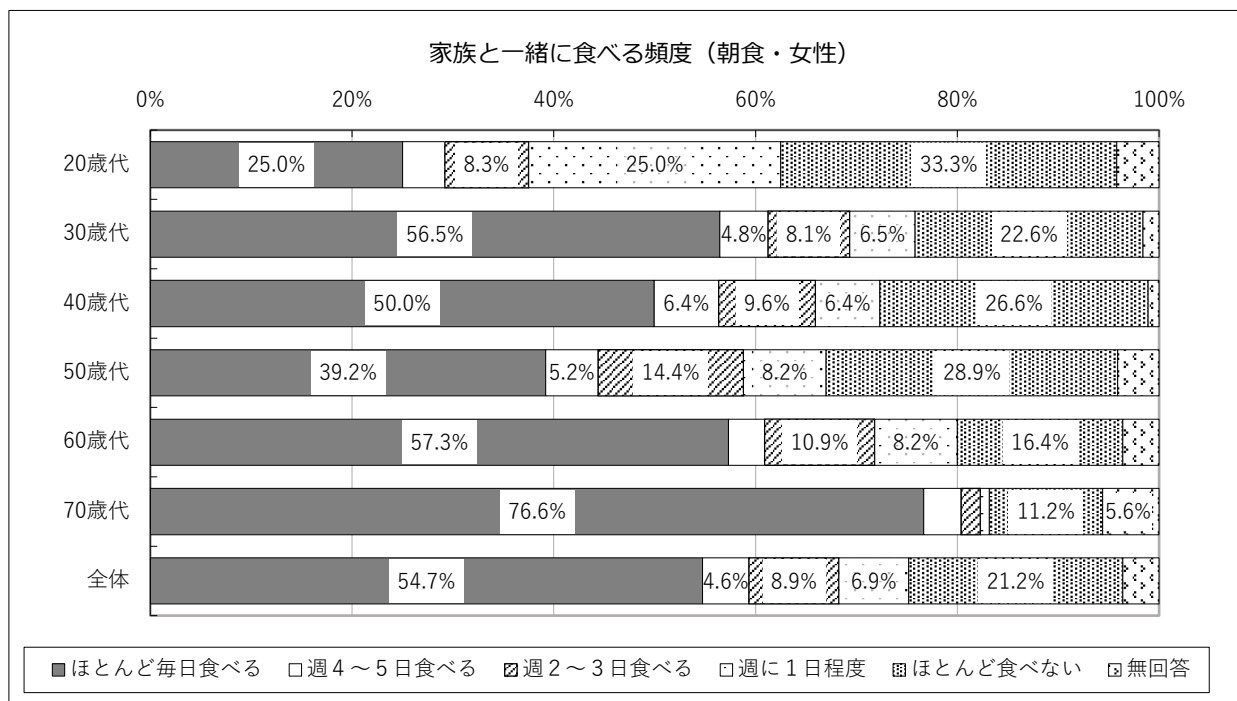
※ 各階層の平均回数は、「ほとんど毎日食べる」7回、「週4～5日食べる」4.5回、「週に2～3日食べる」2.5回、「週に1日程度」1回、「ほとんど食べない」、「無回答」は0回とし、算出した。



家族と同居している女性が朝食と一緒に食べる頻度について、「ほとんど毎日食べる」を選択した女性は、20歳代が最も少なく25.0%，30歳代になると急に増加し56.5%，40歳代，50歳代と減少し，60歳代になるとまた増加に転じた。

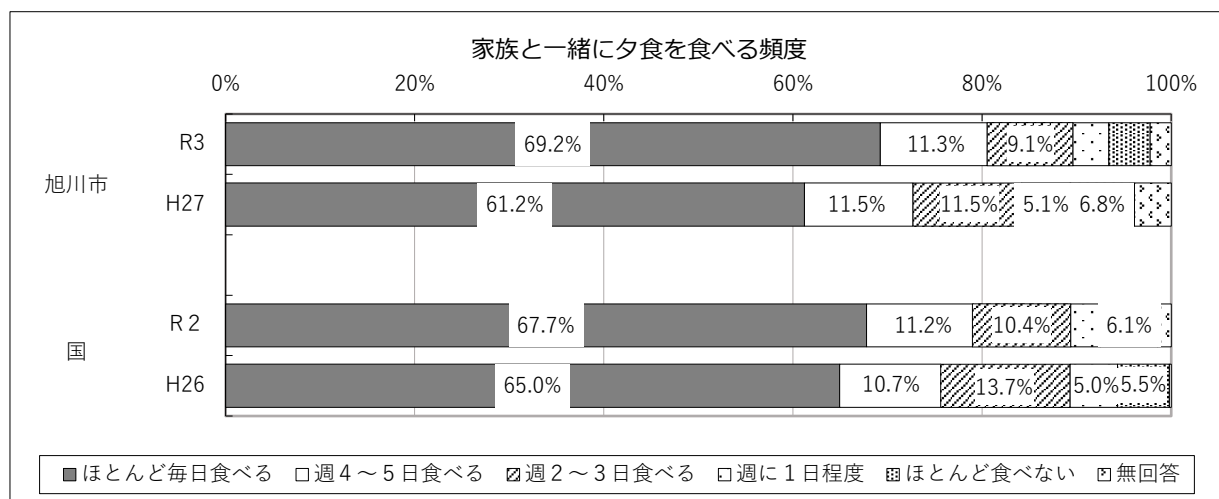
女性	ほとんど毎日食べる	週4～5日食べる	週2～3日食べる	週に1日程度	ほとんど食べない	無回答	計	平均回数 (回/週)
20歳代	6 25.0%	1 4.2%	2 8.3%	6 25.0%	8 33.3%	1 4.2%	24 100.0%	2.4
30歳代	35 56.5%	3 4.8%	5 8.1%	4 6.5%	14 22.6%	1 1.6%	62 100.1%	4.4
40歳代	47 50.0%	6 6.4%	9 9.6%	6 6.4%	25 26.6%	1 1.1%	94 100.1%	4.1
50歳代	38 39.2%	5 5.2%	14 14.4%	8 8.2%	28 28.9%	4 4.1%	97 100.0%	3.4
60歳代	63 57.3%	4 3.6%	12 10.9%	9 8.2%	18 16.4%	4 3.6%	110 100.0%	4.5
70歳代	82 76.6%	4 3.7%	2 1.9%	1 0.9%	12 11.2%	6 5.6%	107 99.9%	5.6
全体（n=495）	271 54.7%	23 4.6%	44 8.9%	34 6.9%	105 21.2%	18 3.6%	495 99.9%	4.3

※ 各階層の平均回数は、「ほとんど毎日食べる」7回、「週4～5日食べる」4.5回、「週に2～3日食べる」2.5回、「週に1日程度」1回、「ほとんど食べない」、「無回答」は0回とし、算出した。



【夕食】

家族と同居している人が夕食を一緒に食べる頻度について、「ほとんど毎日食べる」を選択した人は、69.2%とH27年度市調査結果（61.2%）と比較して8.0ポイント高い。R2年度農林水産省調査結果（67.7%）と比較して1.5ポイント高い。

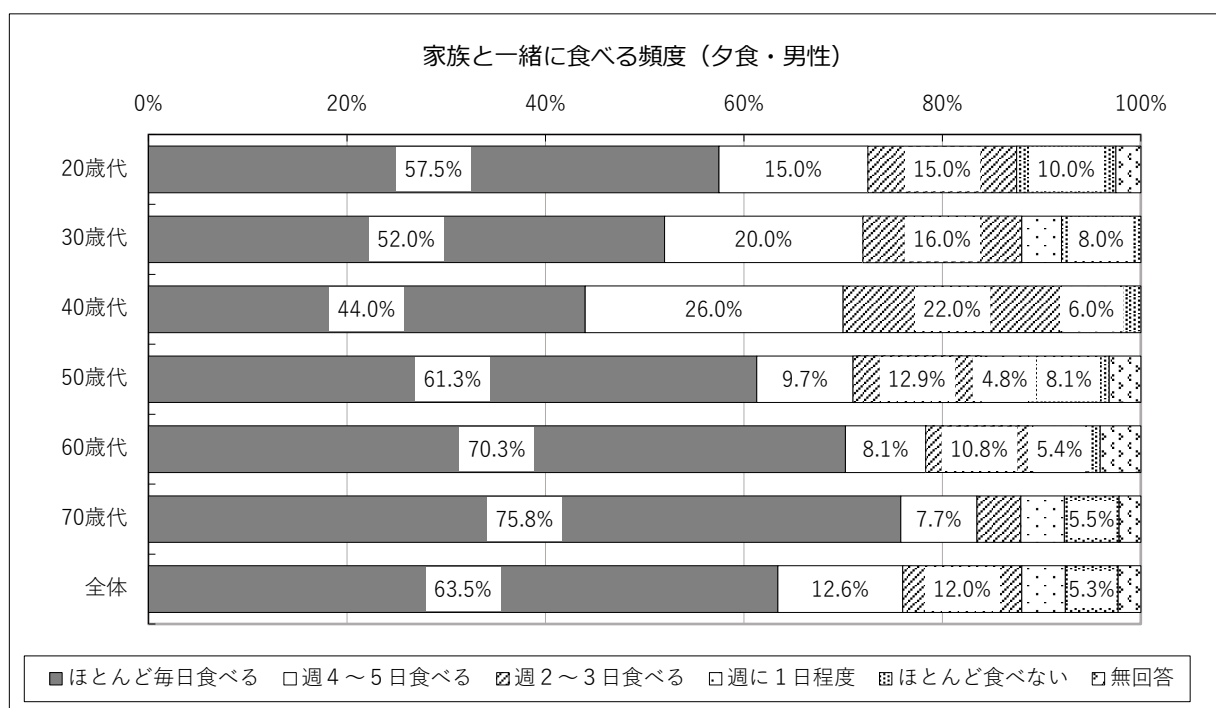


家族と同居している男性が夕食を一緒に食べる頻度について、「ほとんど毎日食べる」を選択した人は、40歳代が最も低く44.0%，70歳代が最も高く75.8%であった。

20歳代から40歳代にかけて一度減少し、その後増加に転じる。

男性	ほとんど毎日食べる	週4～5日食べる	週2～3日食べる	週に1日程度	ほとんど食べない	無回答	計	平均回数 (回/週)
20歳代	23 57.5%	6 15.0%	6 15.0%	0 0.0%	4 10.0%	1 2.5%	40 100.0%	5.1
30歳代	13 52.0%	5 20.0%	4 16.0%	1 4.0%	2 8.0%	0 0.0%	25 100.0%	5.0
40歳代	22 44.0%	13 26.0%	11 22.0%	3 6.0%	1 2.0%	0 0.0%	50 100.0%	4.9
50歳代	38 61.3%	6 9.7%	8 12.9%	3 4.8%	5 8.1%	2 3.2%	62 100.0%	5.1
60歳代	52 70.3%	6 8.1%	8 10.8%	4 5.4%	1 1.4%	3 4.1%	74 100.1%	5.6
70歳代	69 75.8%	7 7.7%	4 4.4%	4 4.4%	5 5.5%	2 2.2%	91 100.0%	5.8
全体 (n=342)	217 63.5%	43 12.6%	41 12.0%	15 4.4%	18 5.3%	8 2.3%	342 100.1%	5.4

※ 各階層の平均回数は、「ほとんど毎日食べる」7回、「週4～5日食べる」4.5回、「週に2～3日食べる」2.5回、「週に1日程度」1回、「ほとんど食べない」、「無回答」は0回とし、算出した。

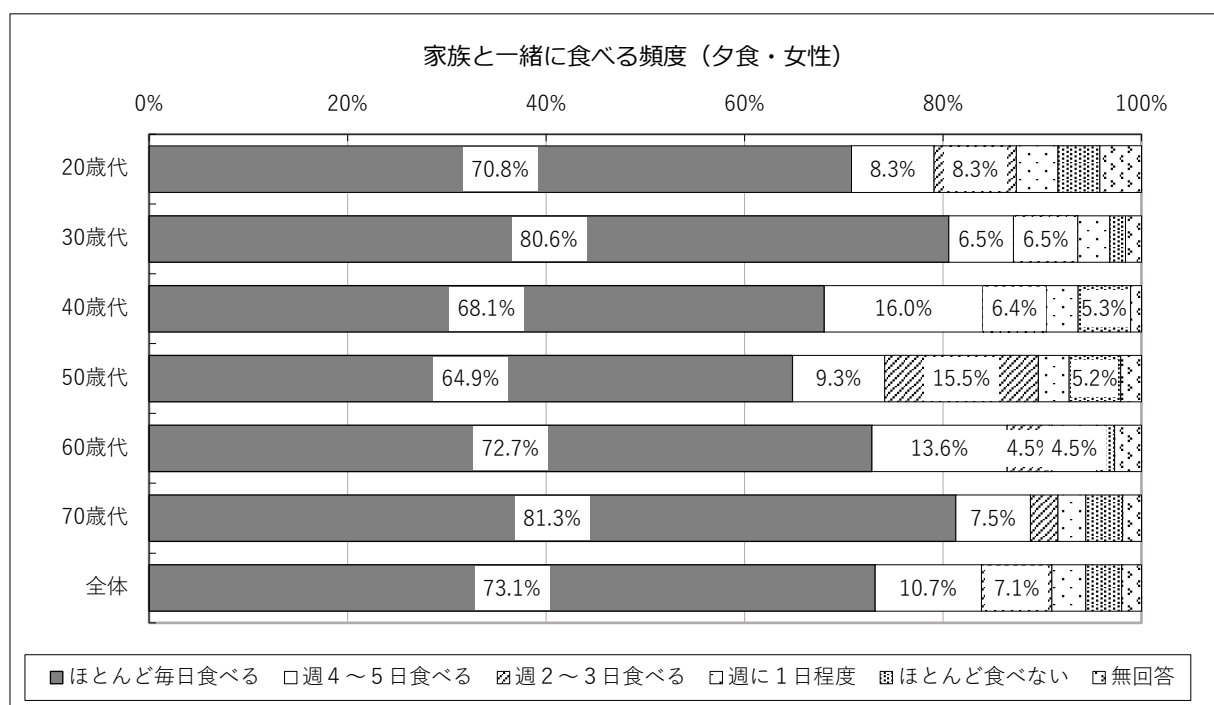


家族と同居している女性が夕食を一緒に食べる頻度について、「ほとんど毎日食べる」を選択した人は、50歳代が最も低く64.9%、70歳代が最も高く81.3%であった。

30歳代から50歳代にかけて一度減少し、その後増加に転じる。

女性	ほとんど毎日食べる	週4～5日食べる	週2～3日食べる	週に1日程度	ほとんど食べない	無回答	計	平均回数 (回/週)
20歳代	17 70.8%	2 8.3%	2 8.3%	1 4.2%	1 4.2%	1 4.2%	24 100.0%	5.6
30歳代	50 80.6%	4 6.5%	4 6.5%	2 3.2%	1 1.6%	1 1.6%	62 100.0%	6.1
40歳代	64 68.1%	15 16.0%	6 6.4%	3 3.2%	5 5.3%	1 1.1%	94 100.1%	5.7
50歳代	63 64.9%	9 9.3%	15 15.5%	3 3.1%	5 5.2%	2 2.1%	97 100.1%	5.4
60歳代	80 72.7%	15 13.6%	5 4.5%	5 4.5%	2 1.8%	3 2.7%	110 99.8%	5.9
70歳代	87 81.3%	8 7.5%	3 2.8%	3 2.8%	4 3.7%	2 1.9%	107 100.0%	6.1
全体 (n=495)	362 73.1%	53 10.7%	35 7.1%	17 3.4%	18 3.6%	10 2.0%	495 99.9%	5.8

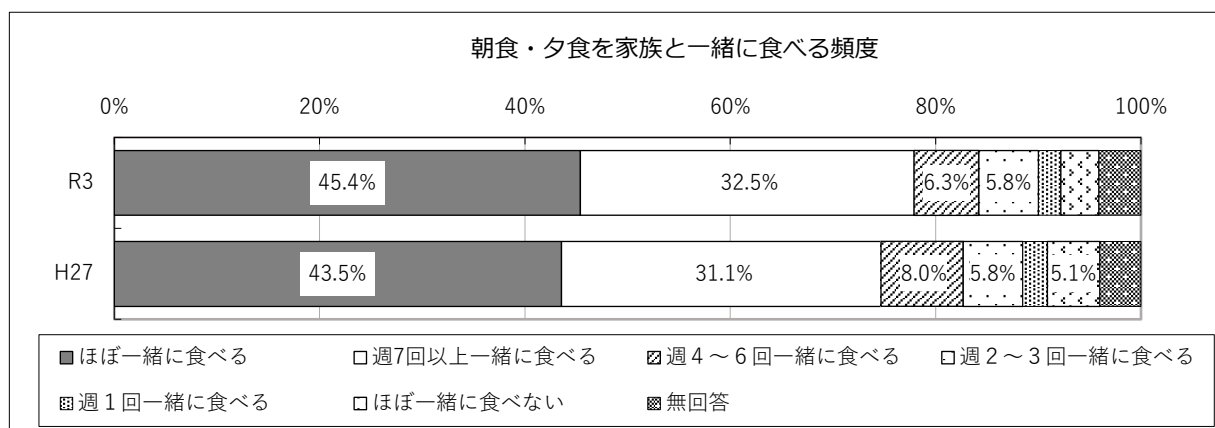
※ 各階層の平均回数は、「ほとんど毎日食べる」7回、「週4～5日食べる」4.5回、「週に2～3日食べる」2.5回、「週に1日程度」1回、「ほとんど食べない」、「無回答」は0回とし、算出した。



【朝食・夕食を家族と一緒に食べる頻度】

家族と同居している人が、朝食または夕食を家族と一緒に週7回以上食べる人の割合は77.9%（「ほぼ一緒に食べる」45.4%、「週7回以上一緒に食べる」32.5%）とH27年度市調査結果（74.6%）と比較して3.3ポイント高い。

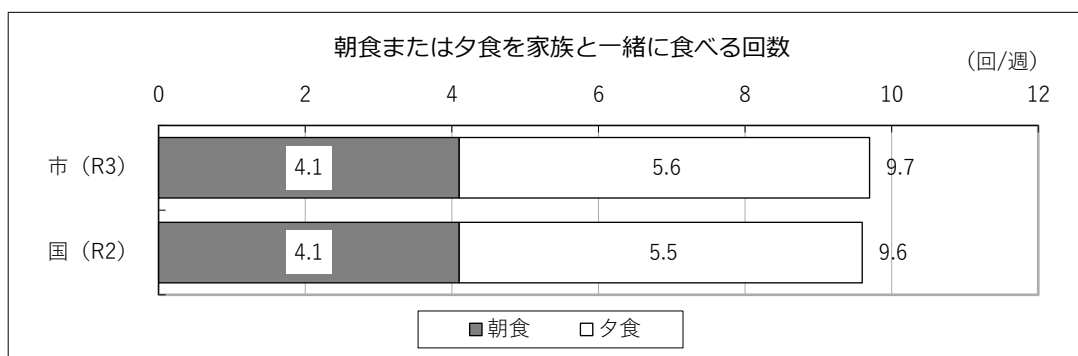
	ほぼ一緒に 食べる	週7回以上 一緒に食べ る	週4～6回 一緒に食べ る	週2～3回 一緒に食べ る	週1回 一緒に食べ る	ほぼ一緒に 食べない	無回答	計
全体(n=848)	385 45.4%	276 32.5%	53 6.3%	49 5.8%	19 2.2%	31 3.7%	35 4.1%	848 100.0%



【朝食または夕食を家族と一緒に食べる回数】

家族と同居している人が、朝食または夕食を家族と一緒に食べる回数は、「朝食」4.1回/週、「夕食」5.6回/週とR2年度農林水産省調査結果と比較して夕食のみ0.1回/週多い。

	ほとんど 毎日食べる	週4～5日 食べる	週2～3日 食べる	週に 1日程度	ほとんど 食べない	無回答	計	平均回数 (回/週)
朝食	427 50.4%	53 6.3%	72 8.5%	49 5.8%	213 25.1%	34 4.0%	848 100.1%	4.1
夕食	587 69.2%	96 11.3%	77 9.1%	32 3.8%	37 4.4%	19 2.2%	848 100.0%	5.6



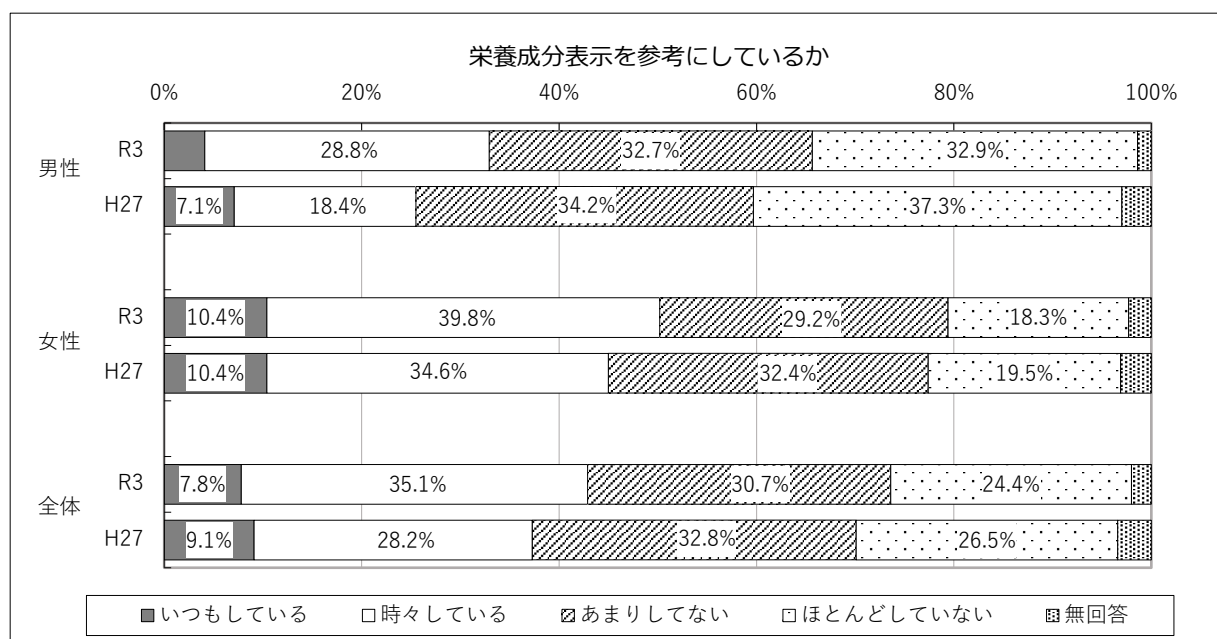
(14) 栄養成分表示を参考にしているか

問21 あなたはふだん、外食をするときや食品を購入するときに栄養成分表示を参考にしていますか。この中から1つ選んでください。

栄養成分表示を参考にしている人の割合は42.9%（「いつもしている」7.8%＋「時々している」35.1%）で、H27年度市調査結果（37.3%）と比較して5.6ポイント高い。

	いつも している	時々 している	あまり していない	ほとんど していない	無回答	計
男性（n=434）	18 4.1%	125 28.8%	142 32.7%	143 32.9%	6 1.4%	434 99.9%
参考にしている人（再掲）	32.9%					
女性（n=613）	64 10.4%	244 39.8%	179 29.2%	112 18.3%	14 2.3%	613 100.0%
参考にしている人（再掲）	50.2%					
全体（n=1,061）	83 7.8%	372 35.1%	326 30.7%	259 24.4%	21 2.0%	1,061 100.0%
参考にしている人（再掲）	42.9%					

※全体には性別無回答の14人を含む



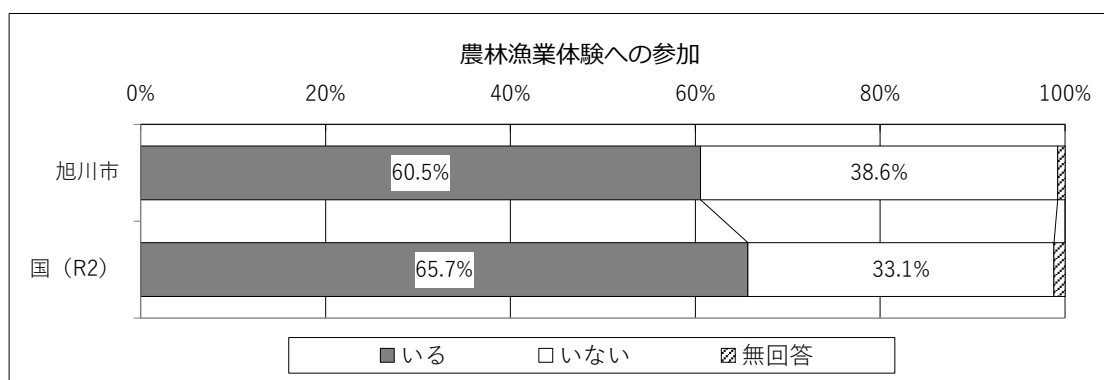
4 農林漁業体験について

(1) 農林漁業体験への参加

問22 これまで、あなた又はあなたの家族の中で、田植え（種まき）、稲刈り、野菜の収穫（家庭菜園含む）、家畜の世話などの農林漁業体験に参加したことがある人はいますか。この中から1つ選んでください。

自身または家族が農林漁業体験に参加したことがある人の割合は60.5%で、R2年度農林水産省調査結果（65.7%）と比較すると5.2ポイント低い。

	いる	いない	無回答	計
全体 (n=1,061)	642 60.5%	410 38.6%	9 0.8%	1,061 99.9%



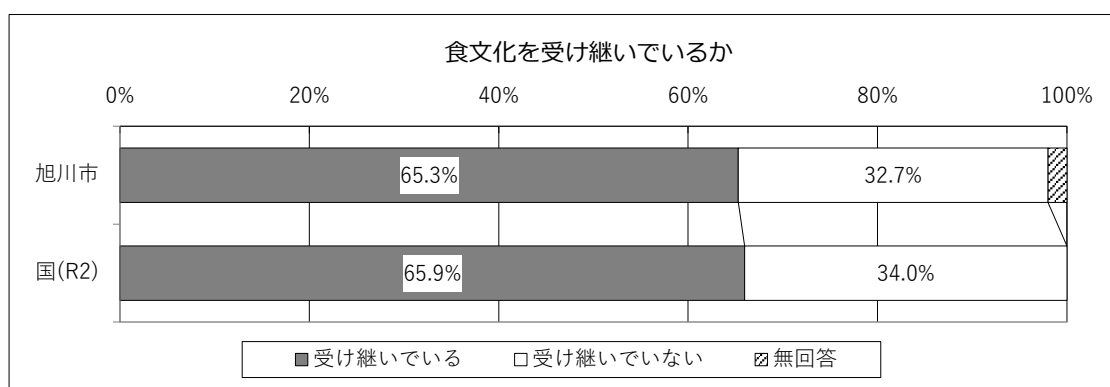
5 食文化について

(1) 食文化を受け継いでいるか

問23 あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を受け継いでいますか。この中から1つ選んでください。

郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を受け継いでいる人の割合は65.3%で、R2年度農林水産省調査結果（65.9%）と比較すると0.6ポイント低い。

	受け継いで いる	受け継いで いない	無回答	計
全体 (n=1,061)	693 65.3%	347 32.7%	21 2.0%	1,061 100.0%

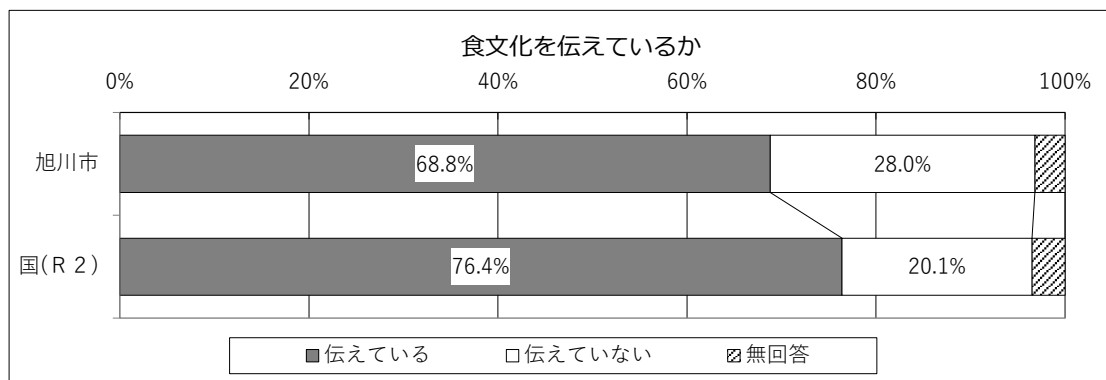


(2) 食文化を伝えているか

問24 あなたが、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭において受け継いできた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を地域や次世代（子供やお孫さんを含む）に対し、伝えていますか。この中から1つ選んでください。

食文化を「受け継いでいる」と回答した人に、食文化を伝えているか聞いたところ、伝えている人の割合は68.8%で、R2年度農林水産省調査結果（76.4%）と比較すると7.6ポイント低い。

	伝えている	伝えていない	無回答	計
全体 (n=693)	477 68.8%	194 28.0%	22 3.2%	693 100.0%



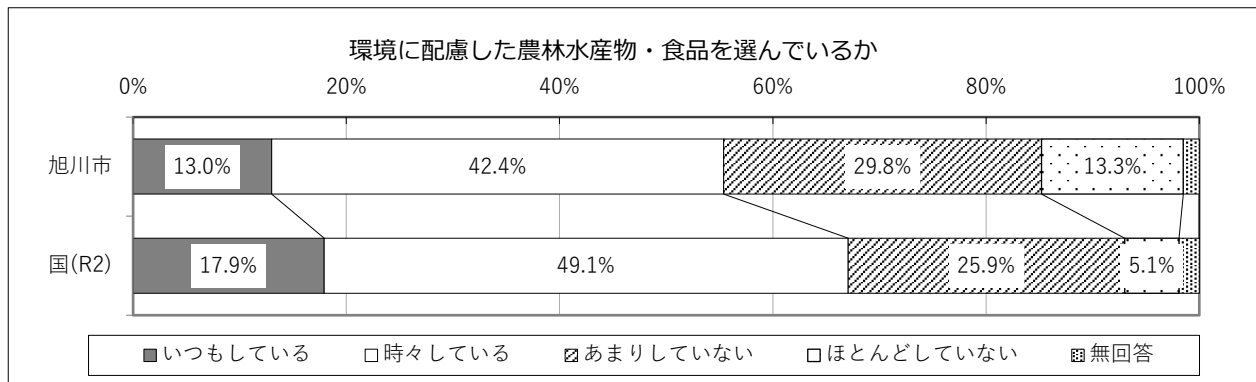
6 環境への配慮について

(1) 環境に配慮した農林水産物・食品を選んでいるか

問25 あなたは、日頃から環境に配慮した農林水産物・食品を選んでいますか。この中から1つ選んでください。

日頃から環境に配慮した農林水産物・食品を選んでいる人の割合は55.4%（「いつもしている」13.0%＋「時々している」42.4%）で、R2年度農林水産省調査結果（67.0%）と比較すると1.6ポイント低い。

	いつも している	時々 している	あまり していない	ほとんど していない	無回答	計
全体 (n=1,061)	138 13.0%	450 42.4%	316 29.8%	141 13.3%	16 1.5%	1,061 100.0%
選んでいる（再掲）	55.4%					



7 産地や生産者を意識することについて

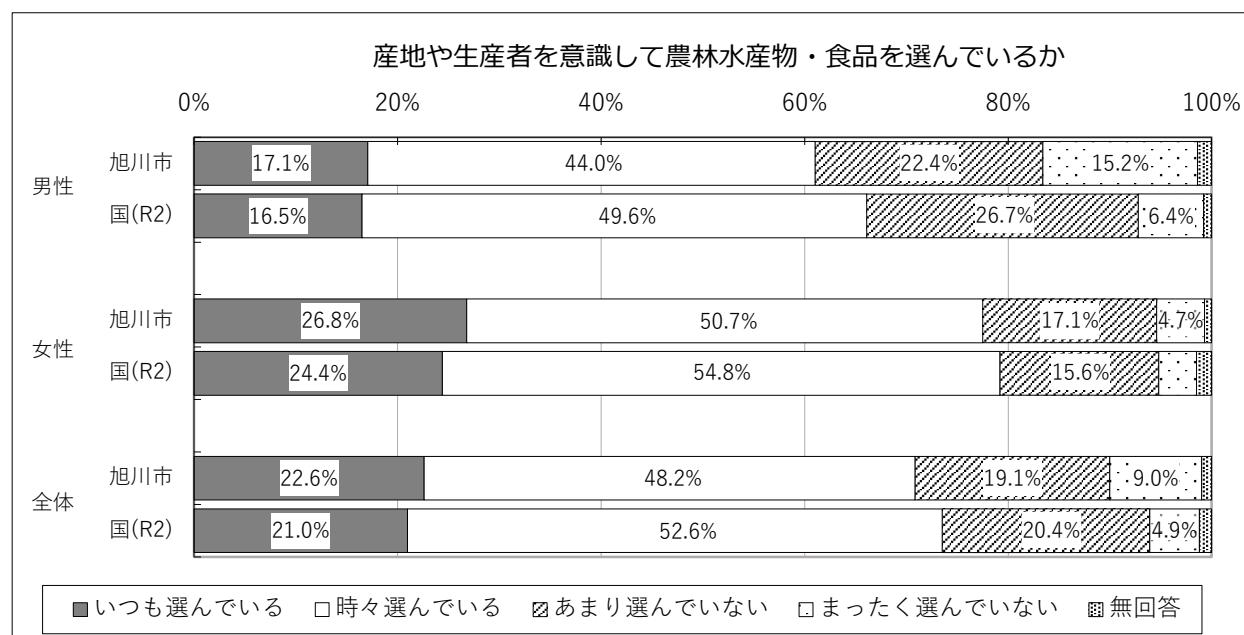
(1) 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選んでいるか

問26 あなたは産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選んでいますか。この中から1つ選んでください。

産地や生産地を意識して農林水産物・食品を選んでいる人の割合は70.8%（「いつも選んでいる」22.6%＋「時々選んでいる」48.2%）で、R2年度農林水産省調査結果（73.6%）と比較すると2.8ポイント低い。

	いつも 選んでいる	時々 選んでいる	あまり 選んでいない	まったく 選んでいない	無回答	計
男性 (n=434)	74 17.1%	191 44.0%	97 22.4%	66 15.2%	6 1.4%	434 100.1%
選んでいる人（再掲）	61.1%					
女性 (n=613)	164 26.8%	311 50.7%	105 17.1%	29 4.7%	4 0.7%	613 100.0%
選んでいる人（再掲）	77.5%					
全体 (n=1,061)	240 22.6%	511 48.2%	203 19.1%	96 9.0%	11 1.0%	1,061 99.9%
選んでいる人（再掲）	70.8%					

※全体には性別無回答の14人を含む



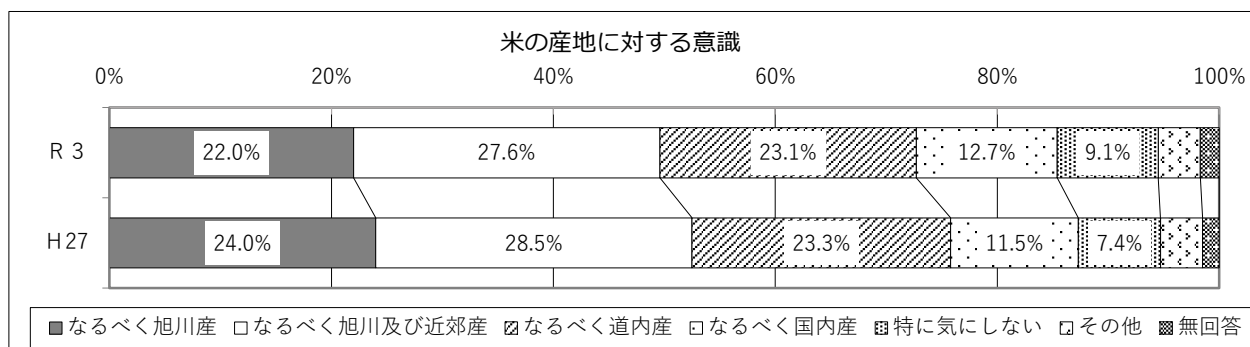
あなたは、ふだん食べる食材を選ぶ際、産地を意識して購入していますか。（ア）から（エ）までの項目それぞれについて1つずつ選んでください。

(2) 米の産地

問27（ア） 米を買う場合、どここの産地のものを選んでいきますか。

地場の米を意識して選んでいる人の割合は49.6%（「なるべく旭川産」22.0%＋「なるべく旭川及び近郊産」27.6%）で、H27年度の結果（52.5%）と比較すると2.9ポイント低い。

	なるべく 旭川産	なるべく 旭川及び 近郊産	なるべく 道内産	なるべく 国内産	特に気に しない	その他	無回答	計
全体 (n=1,061)	233 22.0%	293 27.6%	245 23.1%	135 12.7%	97 9.1%	40 3.8%	18 1.7%	1,061 100.0%
意識している人（再掲）	49.6%							

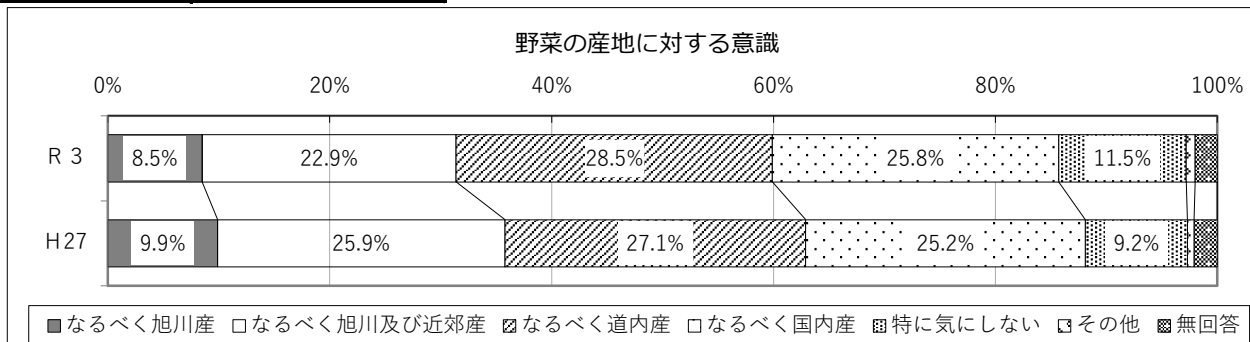


(3) 野菜の産地

問27（イ） 野菜を買う場合、どここの産地のものを選んでいきますか。

地場の野菜を意識して選んでいる人の割合は31.4%（「なるべく旭川産」8.5%＋「なるべく旭川及び近郊産」22.9%）で、H27年度の結果（35.8%）と比較すると4.4ポイント低い。

	なるべく 旭川産	なるべく 旭川及び 近郊産	なるべく 道内産	なるべく 国内産	特に気に しない	その他	無回答	計
全体 (n=1,061)	90 8.5%	243 22.9%	302 28.5%	274 25.8%	122 11.5%	9 0.8%	21 2.0%	1,061 100.0%
意識している人（再掲）	31.4%							

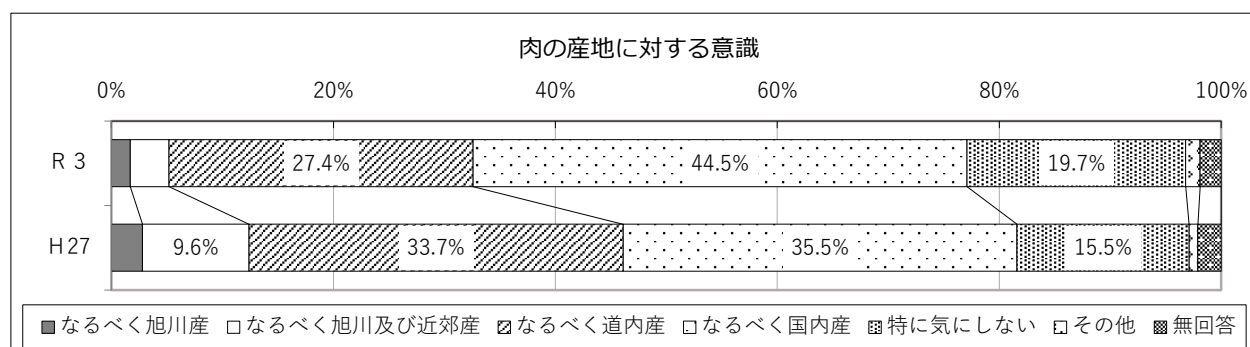


(4) 肉の産地

問27 (ウ) 肉（鶏・豚・牛）を買う場合、どここの産地のものを選んでいきますか。

地場の肉を意識して選んでいる人の割合は5.2%（「なるべく旭川産」1.7%＋「なるべく旭川及び近郊産」3.5%）で、H27年度の結果（12.4%）と比較すると7.2ポイント低い。

	なるべく 旭川産	なるべく 旭川及び 近郊産	なるべく 道内産	なるべく 国内産	特に気に しない	その他	無回答	計
全体 (n=1,061)	18 1.7%	37 3.5%	291 27.4%	472 44.5%	209 19.7%	14 1.3%	20 1.9%	1,061 100.0%
意識している人（再掲）	5.2%							

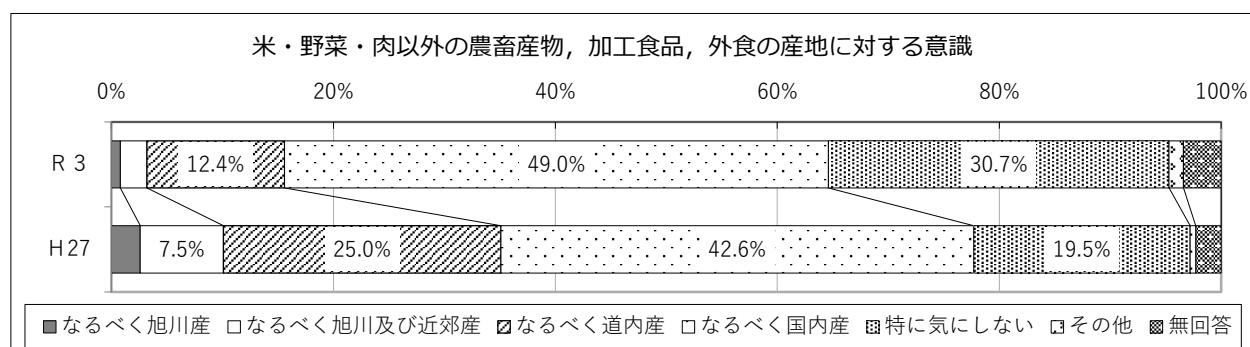


(5) 米・野菜・肉以外の農畜産物，加工食品，外食をする際の産地。

問27 (エ) 上記以外の農畜産物や加工食品を買う場合又は外食をする際、どここの産地のものを選んでいきますか。

米・野菜・肉以外の農畜産物や加工食品を買う場合や外食をする際に、地場の食材を意識して選んでいる人の割合は3.2%（「なるべく旭川産」0.8%＋「なるべく旭川及び近郊産」2.4%）で、H27年度の結果（10.1%）と比較すると6.9ポイント低い。

	なるべく 旭川産	なるべく 旭川及び 近郊産	なるべく 道内産	なるべく 国内産	特に気に しない	その他	無回答	計
全体 (n=1,061)	8 0.8%	25 2.4%	132 12.4%	520 49.0%	326 30.7%	14 1.3%	36 3.4%	1,061 100.0%
意識している人（再掲）	3.2%							

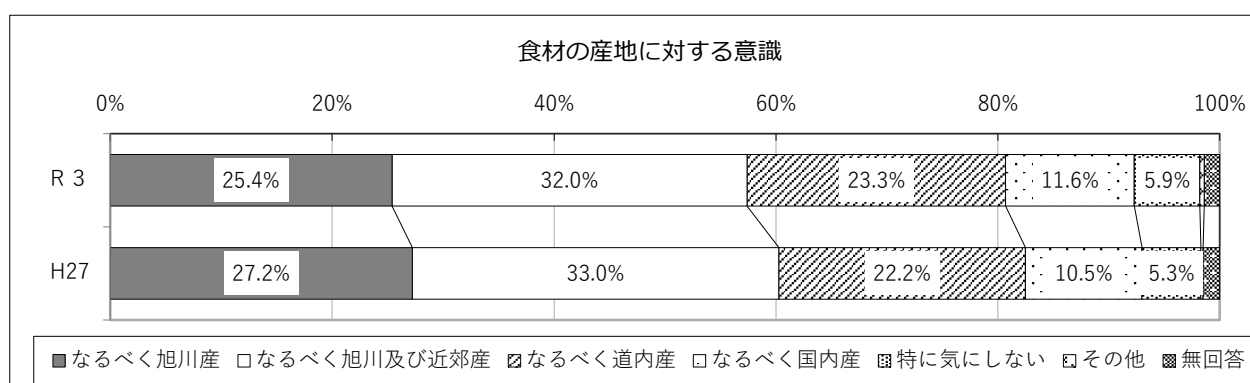


(6) 地場の食材を意識して食べている市民の割合

問27（ア）～（エ）のうち、いずれか一つの食材でも、地場の食材を意識して選んでいる割合

地場の食材を意識して選んでいる人の割合は57.4%（「なるべく旭川産」25.4%＋「なるべく旭川及び近郊産」32.0%）で、H27年度の結果（60.2%）と比較すると2.8ポイント低い。

	なるべく 旭川産	なるべく 旭川及び 近郊産	なるべく 道内産	なるべく 国内産	特に気に しない	その他	無回答	計
全体 (n=1,061)	270 25.4%	339 32.0%	247 23.3%	123 11.6%	63 5.9%	4 0.4%	15 1.4%	1,061 100.0%
意識している人（再掲）	57.4%							



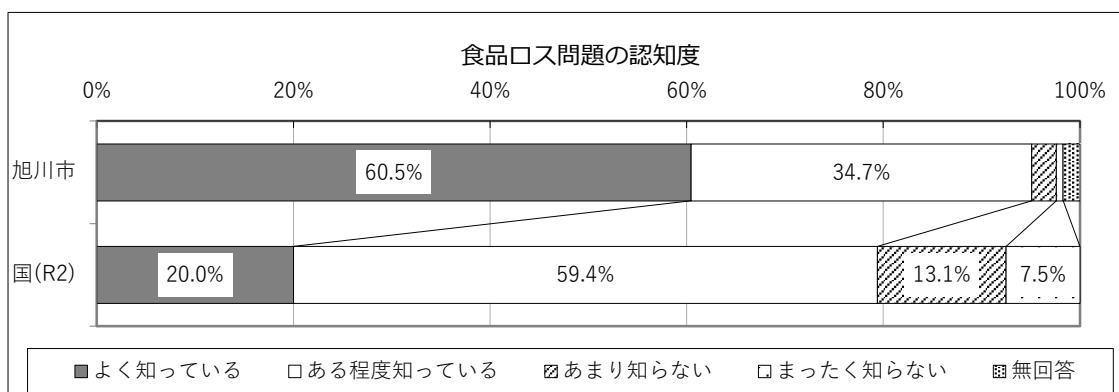
8 食品ロスについて

(1) 食品ロス問題の認知度

問28 あなたは、「食品ロス」が問題となっていることを知っていますか。この中から1つ選んでください。

食品ロス問題を「知っている」と回答した人の割合は95.2%（「よく知っている」60.5%＋「ある程度知っている」34.7%）で、R2年度消費者庁調査結果（79.4%）と比較すると15.8ポイント高い。

	よく 知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	まったく 知らない	無回答	計
全体 (n=1,061)	642 60.5%	368 34.7%	26 2.5%	7 0.7%	18 1.7%	1,061 100.1%
知っている人（再掲）	95.2%					



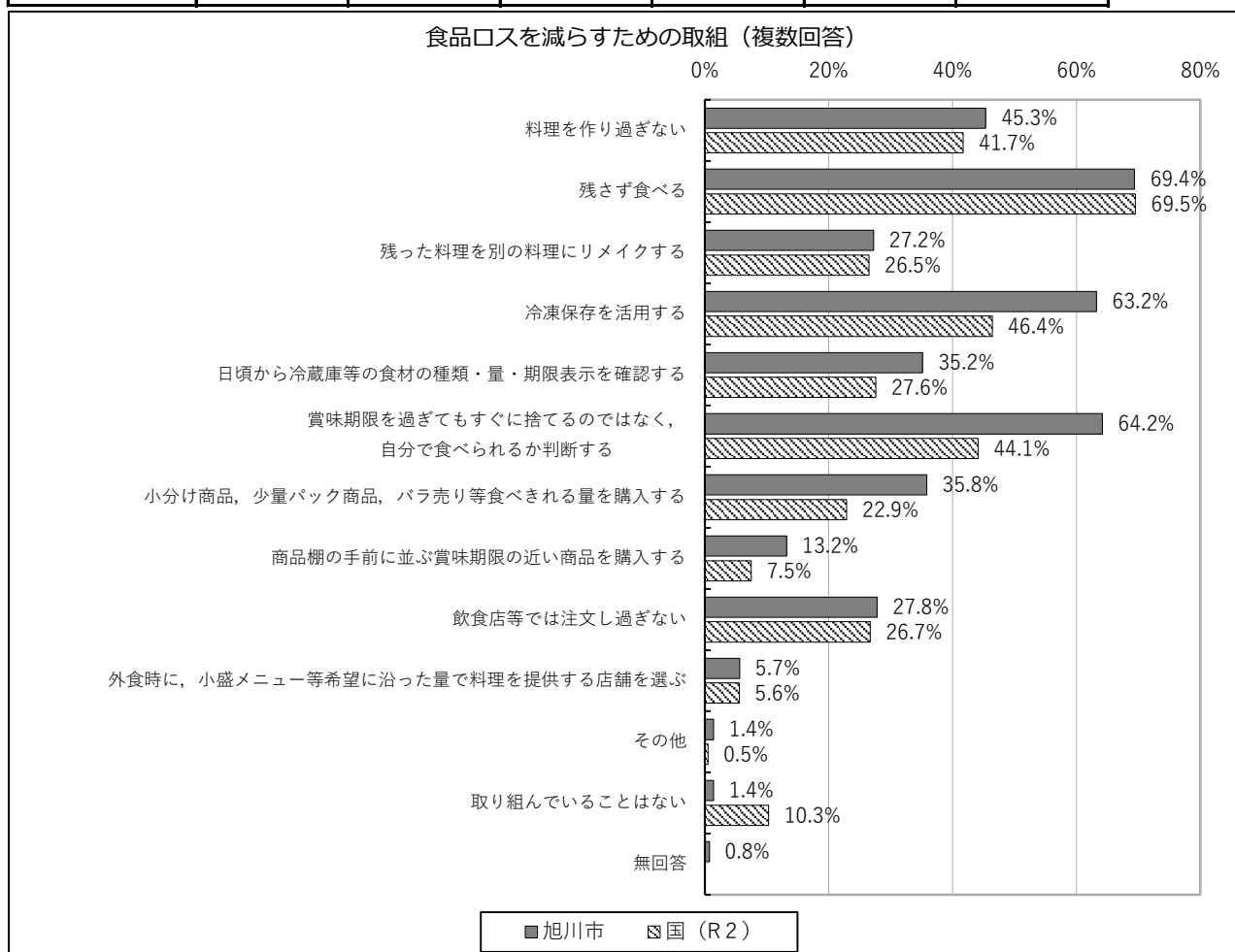
(2) 食品ロスを減らすための取組（複数回答）

問29 あなたは、「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。あてはまる番号をすべて選んでください。

回答の多い順に、「残さず食べる」69.4%、「賞味期限を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」64.2%、「冷凍保存を活用する」63.2%となっている。

R2年度消費者庁調査結果では回答の多い順に、「残さず食べる」69.5%、「冷凍保存を活用する」46.4%、「賞味期限を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」44.1%となっており、順は異なるが上位3項目は本調査と同じであった。

	料理を作り過ぎない	残さず食べる	残った料理を別の料理にリメイクする	冷凍保存を活用する	日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する	賞味期限を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれる量を購入する
全体 (n=1,061)	481 45.3%	736 69.4%	289 27.2%	671 63.2%	373 35.2%	681 64.2%	380 35.8%
	商品棚の手前に並ぶ賞味期限の近い商品を購入する	飲食店等で注文し過ぎない	外食時には、小盛メニュー等希望に沿った量で料理を提供する店舗を選ぶ	その他	取り組んでいることはない	無回答	
	140 13.2%	295 27.8%	60 5.7%	15 1.4%	15 1.4%	8 0.8%	



9 新型コロナウイルス感染症と食生活について

問30 あなた自身の現在の食生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて変わりましたか。（ア）から（ス）までの項目それぞれについて1つずつ選んでください。

(1) 食生活の変化

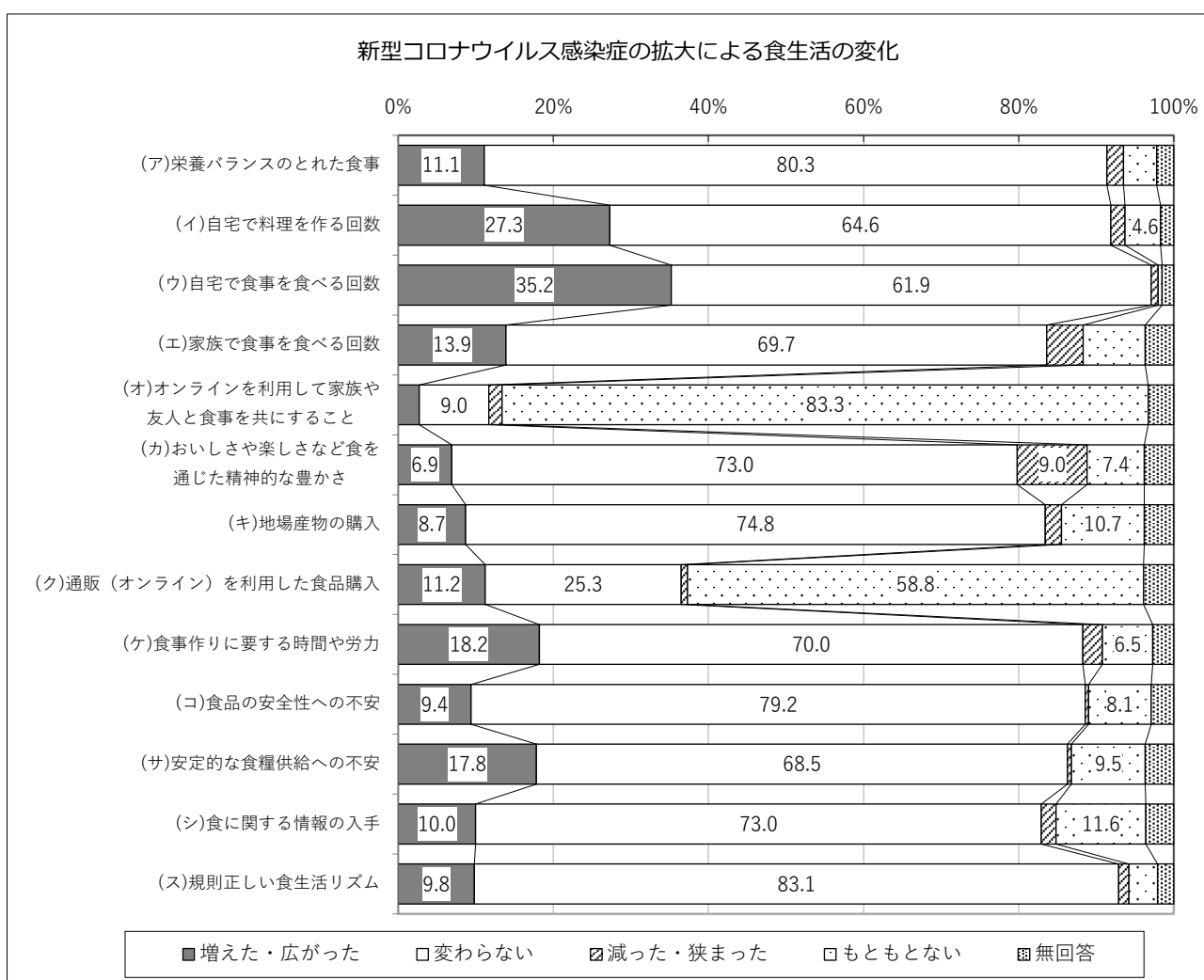
現在の食生活が新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて変わったかについて、13の内容を挙げ、それぞれについて聞いた。

「増えた・広がった」と回答した人の割合が最も高いのは「（ウ）自宅で食事を食べる回数」（35.2%）で、次いで「（イ）自宅で料理を作る回数」（27.3%）, 「（ケ）食事作りに要する時間や労力」（18.2%）となっている。

「減った・狭まった」と回答した人の割合が最も高いのは「（カ）おいしさや楽しさなど食を通じた精神的な豊かさ」（9.0%）で、次いで「（エ）家族で食事を食べる回数」（4.7%）となっている。

「変わらない」と回答した人の割合が最も高いのは「（ス）規則正しい食生活リズム」（83.1%）で、次いで「（ア）栄養バランスのとれた食事」（80.3%）となっている。

「もともとない」と回答した人の割合が最も高いのは「（オ）オンラインを利用して家族や友人と食事を共にすること」（83.3%）で、次いで, 「（ク）通販（オンライン）を利用した食品購入」（58.8%）となっている。

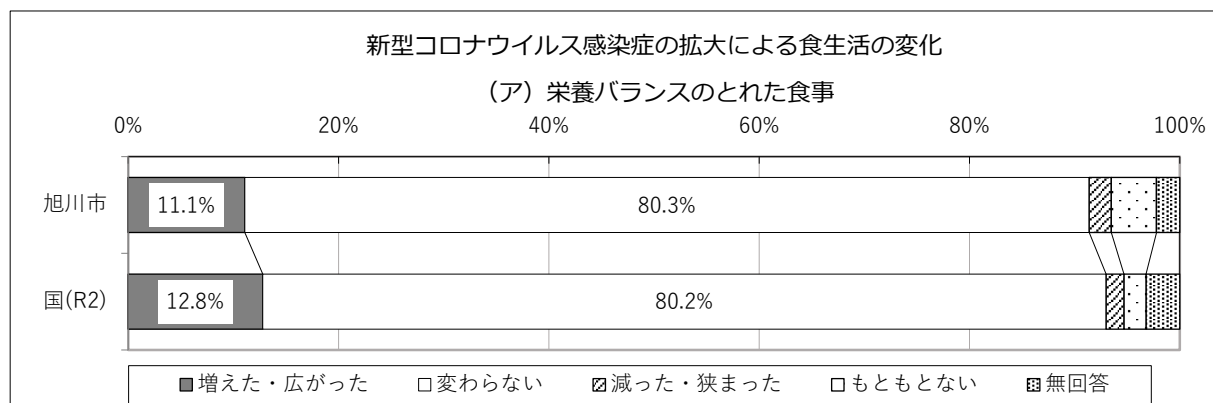


(2) 栄養バランスのとれた食事

問30（ア） 栄養バランスのとれた食事

栄養バランスのとれた食事の割合は「変わらない」と回答した人が最も多く80.3%、次いで「増えた・広がった」11.1%であった。R2年度農林水産省調査結果と同じ順で、割合も同程度だった。

	増えた・ 広がった	変わらない	減った・ 狭まった	もともと ない	無回答	計
全体 (n=1,061)	118 11.1%	852 80.3%	22 2.1%	46 4.3%	23 2.2%	1,061 100.0%

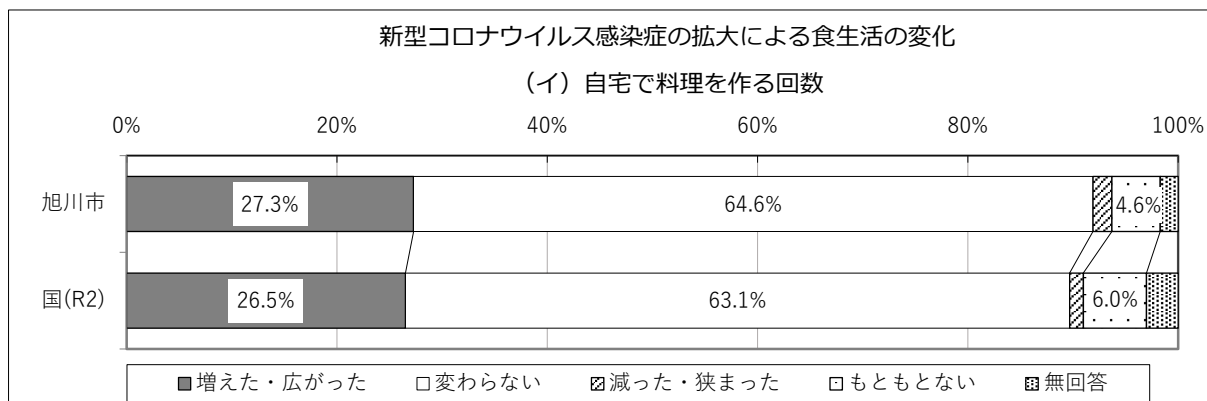


(3) 自宅で料理を作る回数

問30（イ） 自宅で料理を作る回数

自宅で料理を作る回数の割合は「変わらない」と回答した人が最も多く64.6%、次いで「増えた・広がった」27.3%であった。R2年度農林水産省調査結果と同じ順で、割合も同程度だった。

	増えた・ 広がった	変わらない	減った・ 狭まった	もともと ない	無回答	計
全体 (n=1,061)	290 27.3%	685 64.6%	19 1.8%	49 4.6%	18 1.7%	1,061 100.0%

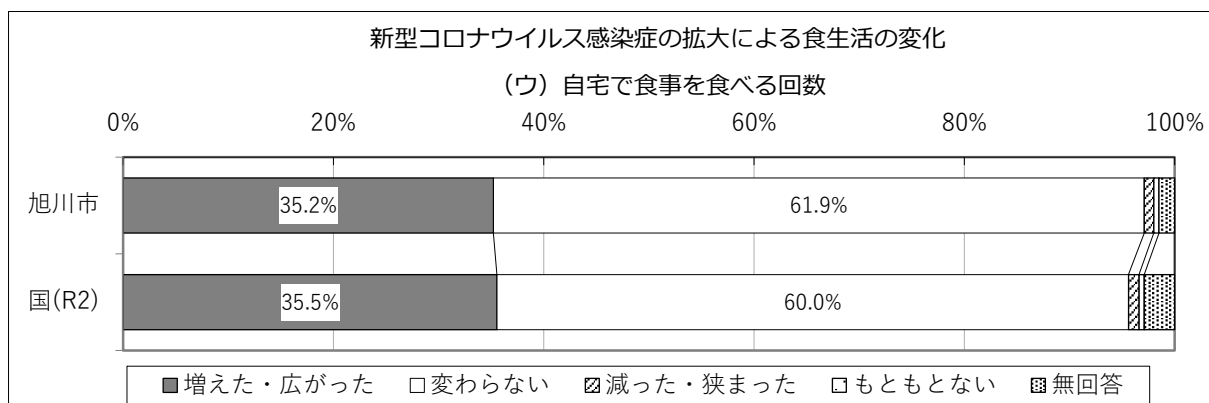


(4) 自宅で食事を食べる回数

問30（ウ） 自宅で食事を食べる回数

自宅で食事を食べる回数の割合は「変わらない」と回答した人が最も多く61.9%，次いで「増えた・広がった」35.2%であった。R2年度農林水産省調査結果と同じ順で，割合も同程度だった。

	増えた・ 広がった	変わらない	減った・ 狭まった	もともと ない	無回答	計
全体 (n=1,061)	373 35.2%	657 61.9%	10 0.9%	5 0.5%	16 1.5%	1,061 100.0%

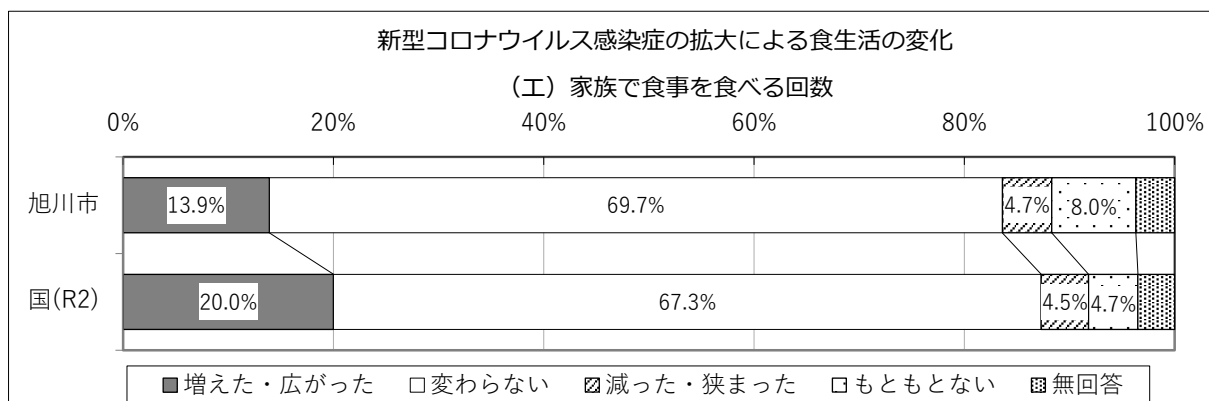


(5) 家族で食事を食べる回数

問30（エ） 家族で食事を食べる回数

家族で食事を食べる回数の割合は「変わらない」と回答した人が最も多く69.7%，次いで「増えた・広がった」13.9%であった。「増えた・広がった」と回答した人はR2年度農林水産省調査結果（20.0%）と比較すると6.1ポイント低い。

	増えた・ 広がった	変わらない	減った・ 狭まった	もともと ない	無回答	計
全体 (n=1,061)	148 13.9%	739 69.7%	50 4.7%	85 8.0%	39 3.7%	1,061 100.0%

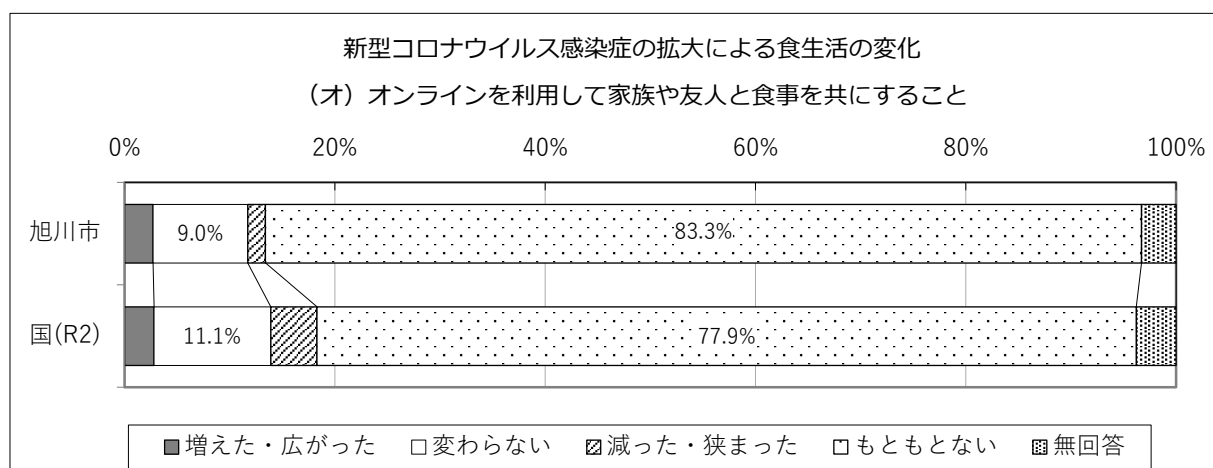


(6) オンラインを利用して家族や友人と食事を共にすること

問30 (オ) オンラインを利用して家族や友人と食事を共にすること

オンラインを利用して家族や友人と食事を共にすることの割合は「もともとない」と回答した人が最も多く83.3%，次いで「変わらない」9.0%であった。

	増えた・広がった	変わらない	減った・狭まった	もともとない	無回答	計
全体 (n=1,061)	29 2.7%	95 9.0%	18 1.7%	884 83.3%	35 3.3%	1,061 100.0%

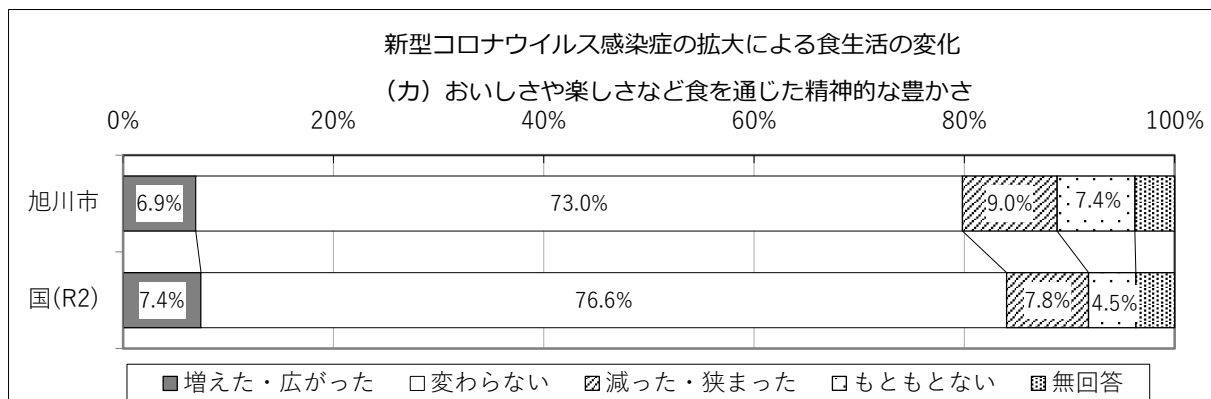


(7) おいしさや楽しさなど食を通じた精神的な豊かさ

問30 (カ) おいしさや楽しさなど食を通じた精神的な豊かさ

おいしさや楽しさなど食を通じた精神的な豊かさの割合は「変わらない」と回答した人が最も多く73.0%，次いで「減った・狭まった」9.0%であった。

	増えた・広がった	変わらない	減った・狭まった	もともとない	無回答	計
全体 (n=1,061)	73 6.9%	774 73.0%	95 9.0%	79 7.4%	40 3.8%	1,061 100.1%

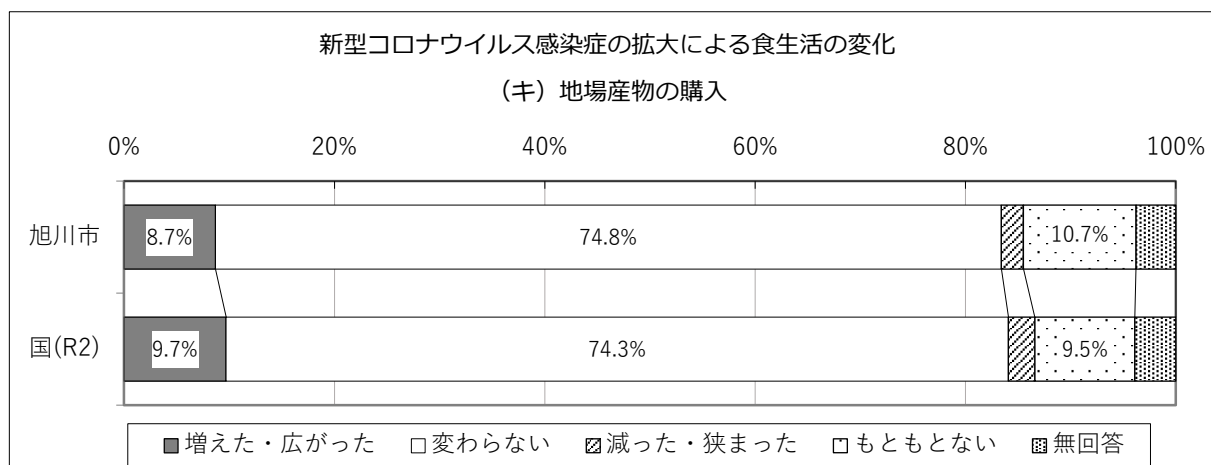


(8) 地場産物の購入

問30 (キ) 地場産物の購入

地場産物の購入の割合は「変わらない」と回答した人が最も多く74.8%、次いで「もともとない」10.7%であった。

	増えた・広がった	変わらない	減った・狭まった	もともとない	無回答	計
全体 (n=1,061)	92 8.7%	794 74.8%	22 2.1%	113 10.7%	40 3.8%	1,061 100.1%

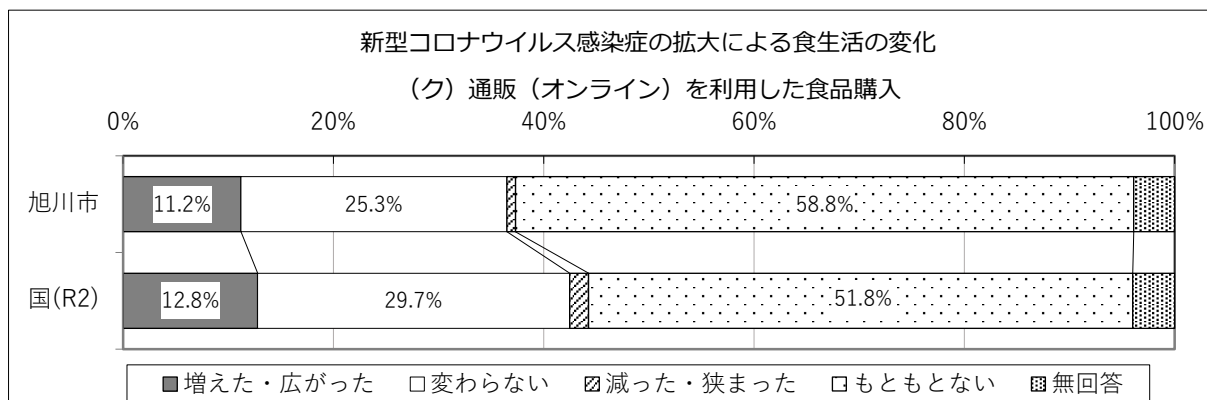


(9) 通販（オンライン）を利用した食品購入

問30 (ク) 通販（オンライン）を利用した食品購入

通販（オンライン）を利用した食品購入の割合は「もともとない」と回答した人が最も多く58.8%、次いで「変わらない」25.3%であった。

	増えた・広がった	変わらない	減った・狭まった	もともとない	無回答	計
全体 (n=1,061)	119 11.2%	268 25.3%	9 0.8%	624 58.8%	41 3.9%	1,061 100.0%

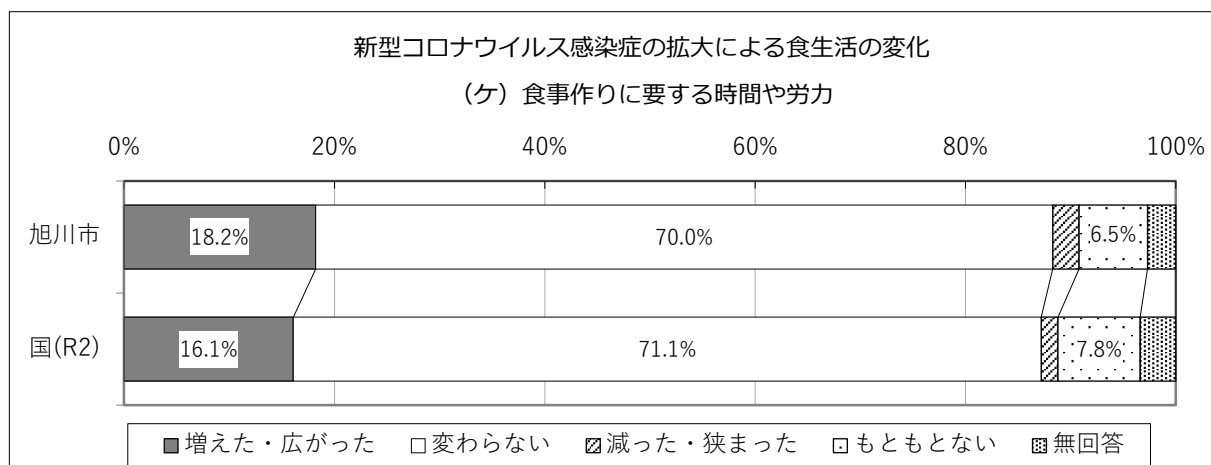


(10) 食事作りに要する時間や労力

問30 (ケ) 食事作りに要する時間や労力

食事作りに要する時間や労力の割合は「変わらない」と回答した人が最も多く70.0%，次いで「増えた・広がった」18.2%であった。

	増えた・ 広がった	変わらない	減った・ 狭まった	もともと ない	無回答	計
全体 (n=1,061)	193 18.2%	743 70.0%	27 2.5%	69 6.5%	29 2.7%	1,061 99.9%

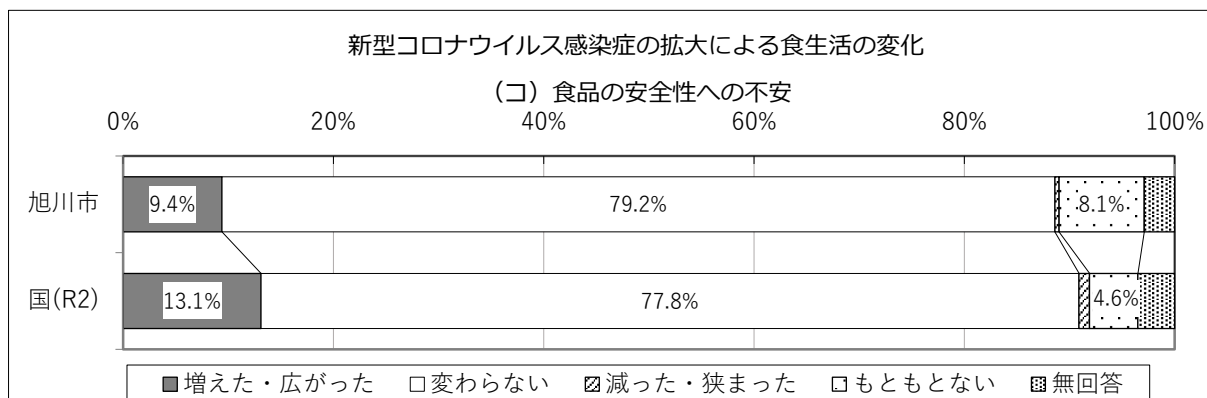


(11) 食品の安全性への不安

問30 (コ) 食品の安全性への不安

食品の安全性への不安の割合は「変わらない」と回答した人が最も多く79.2%，次いで「増えた・広がった」9.4%であった。「増えた・広がった」と回答した人はR2年度農林水産省調査結果（13.1%）と比較すると3.7ポイント低い。

	増えた・ 広がった	変わらない	減った・ 狭まった	もともと ない	無回答	計
全体 (n=1,061)	100 9.4%	840 79.2%	4 0.4%	86 8.1%	31 2.9%	1,061 100.0%

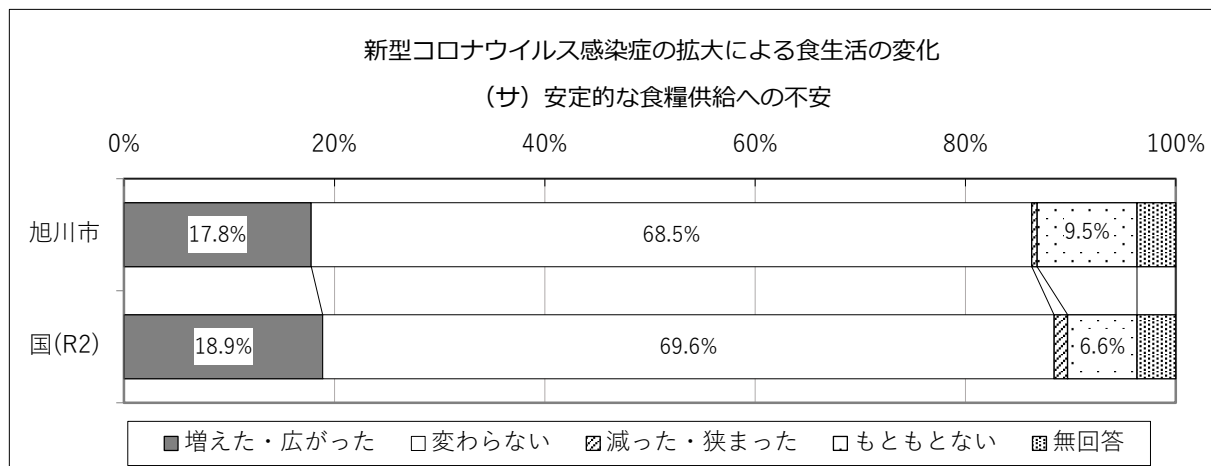


(12) 安定的な食糧供給への不安

問30（サ） 安定的な食料供給への不安

安定的な食料供給への不安の割合は「変わらない」と回答した人が最も多く68.5%，次いで「増えた・広がった」17.8%であった。R2年度農林水産省調査結果と同じ順で，割合も同程度だった。

	増えた・ 広がった	変わらない	減った・ 狭まった	もともと ない	無回答	計
全体 (n=1,061)	189 17.8%	727 68.5%	5 0.5%	101 9.5%	39 3.7%	1,061 100.0%

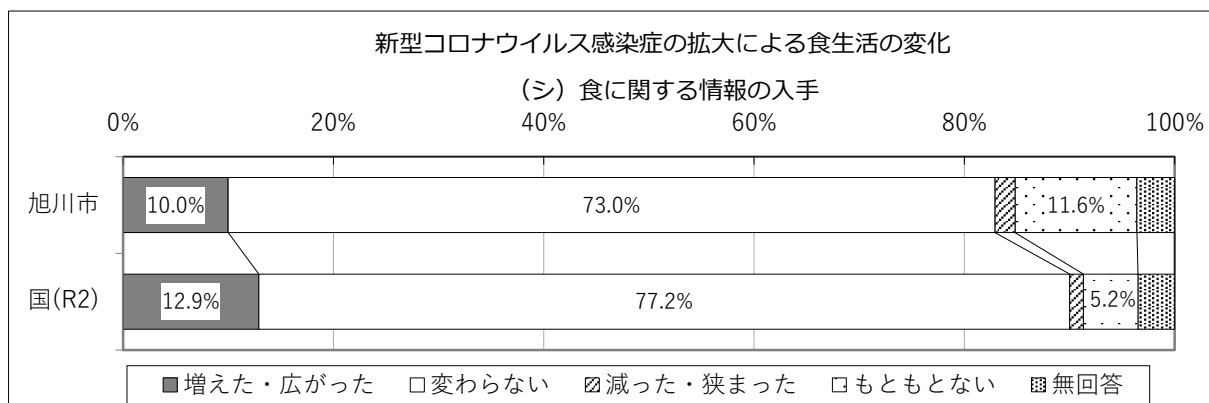


(13) 食に関する情報の入手

問30（シ） 食に関する情報の入手

食に関する情報の入手の割合は「変わらない」と回答した人が最も多く73.0%，次いで「もともとない」11.6%であった。

	増えた・ 広がった	変わらない	減った・ 狭まった	もともと ない	無回答	計
全体 (n=1,061)	106 10.0%	774 73.0%	20 1.9%	123 11.6%	38 3.6%	1,061 100.1%

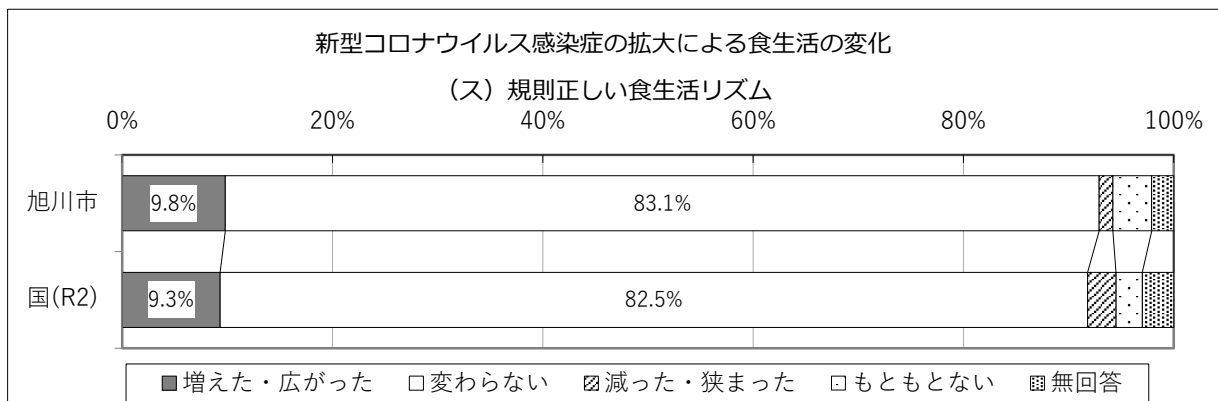


(14) 規則正しい食生活リズム

問30 (ス) 規則正しい食生活リズム

規則正しい食生活リズムの割合は「変わらない」と回答した人が最も多く83.1%，次いで「増えた・広がった」9.8%であった。R2年度農林水産省調査結果と同じ順で，割合も同程度だった。

	増えた・ 広がった	変わらない	減った・ 狭まった	もともと ない	無回答	計
全体 (n=1,061)	104 9.8%	882 83.1%	14 1.3%	39 3.7%	22 2.1%	1,061 100.0%



旭川市食育に関するアンケート調査

【 記入にあたってのお願い 】

- 1 このアンケートで、答えたくない質問については、空欄のままでかまいません。
- 2 回答のあてはまる項目の番号を選び記入欄に記入してください。
1つだけ選択するものと、複数回答していただく質問があります。
「その他」とお答えの場合は、（ ）内に、その内容を具体的に記入してください。
- 3 問8は、別紙資料を参考にアンケートにお答えください。



問1 あなたの職業は、どれにあたりますか。この中から1つ選んでください。

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1 農林漁業 | 2 自営の商工、サービス業 |
| 3 自由業（弁護士、開業医など） | 4 会社員、団体職員（経営者、役員を含む） |
| 5 公務員、教員 | 6 専業主婦・主夫 |
| 7 有職の主婦・主夫（パートなど） | 8 学生 |
| 9 無職 | 10 その他（ ） |

問1

問2 同居している方はいますか。

- | | |
|----------|-----------------|
| 1 同居者がいる | 2 同居者はいない → 問4へ |
|----------|-----------------|

問2

問3 <問2で1を選んだ方におたずねします> あてはまるものすべてに○をお書きください。

	18歳未満の方						⑦ 18歳以上の方
	① 1歳未満	② 満1歳から小学校就学前	③ 小学生	④ 中学生	⑤ 高校生・高等専門学校生	⑥ ①～⑤以外の18歳未満の方	
同居している方の年齢区分							

問4 現在のあなたの暮らし向きはいかがですか。この中から1つ選んでください。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 ゆとりがある | 2 ややゆとりがある |
| 3 どちらともいえない | 4 あまりゆとりはない |
| 5 まったくゆとりはない | |

問4

問5 あなたは自分の健康状態について、どのようにお感じですか。この中から1つ選んでください。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 とても良い | 2 まあ良い |
| 3 どちらともいえない | 4 あまり良くない |
| 5 良くない | |

問5

まず、【資料1】を読んで **問6** にお答えください。

【資料1】

「食育」は、心身の健康増進と豊かな人間形成のために、食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践できることができる人間を育てることです。その中には、規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食事などを実践したり、食を通じたコミュニケーションやマナー、あいさつなどの食に関する基礎を身に付けたり、自然の恵みへの感謝や食文化などへの理解を深めたりすることが含まれます。

問6 あなたは、「食育」に関心がありますか。この中から1つ選んでください。

- 1 関心がある
- 2 どちらかといえば関心がある
- 3 どちらかといえば関心がない
- 4 関心がない

問6

問7 旭川市では、平成27年度から8月と9月を、「あさひかわ食育推進月間」と定めています。市内スーパーや食育イベント、保育園・学校等の給食だよりなどを通じてPRしていますが、それらを見る機会がありましたか。

- 1 はい
- 2 いいえ

問7

問8 別紙の資料2を参考にお答えください。

主食(ごはん、パン、麺など)・主菜(肉・魚・卵・大豆製品などを使ったメインの料理)・副菜(野菜・きのこ・いも・海藻などを使った小鉢・小皿の料理)をそろえて食べることが1日に2回以上あるのは週に何日ありますか。この中から1つ選んでください。

- 1 ほぼ毎日食べる → 問10へ
- 2 週に4～5日食べる
- 3 週に2～3日食べる → 問9へ
- 4 ほとんどない

問8

問9 <問8で2，3，4とお答えいただいた方におたずねします。>

主食・主菜・副菜をそろえて食べる回数を増やすためには、どのようなことが必要だと思いますか。この中から3つまで選んでください。

- 1 手間がかからないこと
- 2 時間があること
- 3 食費に余裕があること
- 4 自分で用意することができること
- 5 食欲があること
- 6 3つそろえて食べるメリットを知っていること
- 7 家に用意されていること
- 8 外食やコンビニ等で手軽にとることができる環境があること
- 9 その他（具体的に

問9		

【全員の方に】

問10 あなたは、ふだんの食事で1日あたり「あと1皿程度、野菜を増やすこと」についてどう考えますか。あてはまる番号をすべて選んでください。

- 1 生野菜サラダを1皿程度なら増やせると思う
- 2 お浸しや煮物を1皿程度なら増やせると思う
- 3 野菜が好きではないから増やせないと思う
- 4 値段が高いから増やせないと思う
- 5 自分で食事の準備をしないから増やせないと思う
- 6 外食が多いから増やせないと思う
- 7 現在、野菜を十分に食べているから増やせないと思う

問10

まず、【資料3】を読んで **問11** にお答えください。

【資料3】

「朝食（又は、昼食、夕食のいずれか）を食べる」とは、エネルギー源となる食べ物、飲み物を飲食した場合のことをいい、砂糖・ミルクを加えないお茶類（日本茶・コーヒー・紅茶など）、水及び錠剤・カプセル・顆粒状のビタミン・ミネラルしか取らない場合は、「食べた」ことにはなりません。

問11 あなたはふだん、朝食、昼食、夕食を食べますか。食事区分ごとに1つずつ選び○をつけてください。

	①ほとんど 毎日食べる	②週4～5日 食べる	③週2～3日 食べる	④ほとんど 食べない
(ア) 朝食				
(イ) 昼食				
(ウ) 夕食				

問12 <問11（ア）朝食で、②③④を選んだ方におたずねします。>

朝食を食べるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
あてはまる番号をすべて選んでください。

- 1 自分で朝食を用意する手間がかからないこと
- 2 自分で朝食を用意する時間があること
- 3 朝早く起きられること
- 4 夕食や夜食を食べすぎていないこと
- 5 朝、食欲があること
- 6 ダイエットの必要がないこと
- 7 朝食を食べる習慣があること
- 8 朝食を食べるメリットを知っていること
- 9 夜遅くまで残業するなど労働時間や環境に無理がないこと
- 10 家に朝食が用意されていること
- 11 外食やコンビニ等で手軽に朝食をとることができる環境があること
- 12 その他（ ）

問12

【全員の方に】

問13 あなたは、健康のために体操や歩くなど定期的な運動を実践していますか。

この中から1つ選んでください。

- 1 実践して、半年以上継続している
- 2 実践しているが、半年未満である
- 3 時々実践しているが、継続的ではない
- 4 現在はしていないが、近いうちにしようと思っている
- 5 現在はしていないし、しようとも思わない

問13

問14 あなたは、健康を維持するために（適正体重を維持するなど）、自分に適した1食の量とバランスがわかりますか。この中から1つ選んでください。

- 1 よくわかる
- 2 少しわかる
- 3 どちらともいえない
- 4 あまりわからない
- 5 まったくわからない

適正体重の求め方の一つとしてBMIがあります。

$$\text{BMI} = \text{体重(kg)} \div \text{身長(m)} \div \text{身長(m)}$$

で求められます。

※例えば、身長165cm、体重60kgの人の場合
 $60(\text{kg}) \div 1.65(\text{m}) \div 1.65(\text{m}) = 22.04$

目標とする範囲は

- | | | |
|---------|---|-----------|
| 18歳～49歳 | → | 18.5～24.9 |
| 50歳～64歳 | → | 20.0～24.9 |
| 65歳以上 | → | 21.5～24.9 |

この範囲より低ければ「やせ」、高ければ「肥満」となります。

問14

問15 生活習慣病予防のために、あなたは、ふだんから適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を実践していますか。この中から1つ選んでください。

- 1 いつも気をつけて実践している
- 2 気をつけて実践している
- 3 あまり気をつけて実践していない
- 4 まったく気をつけて実践していない

問15

問16 あなたは、ふだんゆっくりよくかんで食べていますか。この中から1つ選んでください。

- 1 ゆっくりよく噛んで食べている
- 2 どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている
- 3 どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べていない
- 4 ゆっくりよく噛んで食べていない

問16

問17 あなたは、1日のすべての食事を1人で食べることはありますか。

この中から1つ選んでください。

- 1 ほとんどない
- 2 週に1日程度ある
- 3 週に2～3日ある
- 4 週に4～5日ある
- 5 ほとんど毎日

問17

問18 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策が十分にとられているという前提でお伺いします。

地域や所属コミュニティ（職場等を含む）での食事会等の機会があれば、あなたは参加したいと思いますか。この中から1つ選んでください。

- 1 とてもそう思う
- 2 そう思う
- 3 どちらともいえない
- 4 あまりそう思うわない
- 5 まったくそう思わない

問20へ

「地域や所属コミュニティ（職場等を含む）での食事会等の機会」とは、職場でのランチ会や、地域の栄養士や食生活改善推進員の協力のもと行われる、料理教室や共食会等を指します。

問18

問19 <問18で1または2とお答えいただいた方におたずねします。>

あなたは、過去1年間に、地域や所属コミュニティの食事会等に参加しましたか。

- 1 参加した
- 2 参加していない

問19

問20 <同居家族がいる方のみお答えください。> → いない方は問21へ

家族と一緒に食べることはどのくらいありますか。次の朝食、夕食それぞれについてこの中から1つずつ選び○をつけてください。

	① ほとんど毎日	② 週に4～5日	③ 週に2～3日	④ 週に1日程度	⑤ ほとんどない
(ア) 朝食					
(イ) 夕食					

【全員の方に】

問21 あなたはふだん、外食をするときや食品を購入するときに栄養成分の表示を参考にしていますか。この中から1つ選んでください。

- 1 いつもしている
- 2 時々している
- 3 あまりしていない
- 4 ほとんどしていない

問21

問22 これまで、~~あなた又はあなたの家族の中で~~、田植え（種まき）、稲刈り、野菜の収穫（家庭菜園を含む）、家畜の世話などの農林漁業体験に参加したことがある人はいいますか。
この中から1つ選んでください。

- 1 いる
- 2 いない

問22

まず、【資料4】を読んで **問23** にお答えください。

【資料4】

「郷土料理や伝統料理」は、その地域特有の料理や、年越しそばなど古くから受け継がれ伝えられている料理ですが、いわゆる「おふくろの味」など、その家庭で受け継がれてきた家庭料理も含まれます。

「食べ方・作法」は、「お椀を手に持つ」、「迷い箸をしない」、「音をたてない」など、日常の食事のマナーや、食事の際のあいさつである「いただきます」や「ごちそうさまでした」など、料理を作ってくれた人や自然の恵みへの感謝などの気持ちの表現も含まれます。

問23 あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を受け継いでいますか。この中から1つ選んでください。

- 1 受け継いでいる
- 2 受け継いでいない

問23

→ 問25へ

問24 <問23で1とお答えいただいた方におたずねします。>

あなたが郷土料理や伝統料理など、地域や家庭において受け継いできた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を地域や次世代（子供やお孫さんを含む）に対し、伝えていますか。
この中から1つ選んでください。

- 1 伝えている
- 2 伝えていない

問24

【全員の方に】

問25 あなたは、日頃から環境に配慮した農林水産物・食品を選んでいますか。
この中から1つ選んでください。

- 1 いつもしている
- 2 時々している
- 3 あまりしていない
- 4 ほとんどしていない

環境に配慮した農林水産物・食品とは、農薬や化学肥料に頼らず生産された有機農産物や、過剰包装ではなくゴミが少ない商品など、環境への負荷をなるべく低減した農林水産物・食品のことです。

問25

問26 あなたは、産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選んでいますか。
この中から1つ選んでください。

- 1 いつも選んでいる
- 2 時々選んでいる
- 3 あまり選んでいない
- 4 まったく選んでいない

「産地や生産者を意識」とは、地元産品や、被災地の産品など、自分が応援したい地域の産品や、応援したい生産者を意識する場合のことをいいます。

問26

問27 あなたは、ふだん食べる食材を選ぶ際、産地を意識して購入していますか。

(ア) から (エ) までの項目それぞれ1つずつ選び○をつけてください。

	① なるべく 旭川産	② なるべく 旭川及び 近郊産	③ なるべく 道内産	④ なるべく 国内産	⑤ 特に気に しない	⑥ その他(理由)
(ア) 米を買う場合						
(イ) 野菜を買う場合						
(ウ) 肉(鶏・豚・牛)を買う 場合						
(エ) 上記以外の農畜産物や加 工食品を買う場合または外 食をする際						

まず、【資料5】を読んで **問28** にお答えください。

【資料5】

食品ロスとは、本来、食べられるにも関わらず廃棄されてしまう食品のことです。

(例)

- ・賞味・消費期限切れ等により、食材を使わないまま捨ててしまう(直接廃棄)
- ・食べ残し等により余った料理を捨ててしまう(食べ残し)
- ・食材の皮などを、食べられる部分まで厚く剥いてしまう(過剰除去) など

※ 魚の骨や野菜・果物の皮など、元々食べられない部分を廃棄することは食品ロスには
含まれません。

問28 あなたは、「食品ロス」が問題になっていることを知っていますか。

この中から1つ選んでください。

- 1 よく知っている
- 2 ある程度知っている
- 3 あまり知らない
- 4 まったく知らない

問28

問29 あなたは、「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。

あてはまる番号をすべて選んでください。

- 1 料理を作り過ぎない
- 2 残さず食べる
- 3 残った料理を別の料理にリメイクする
- 4 冷凍保存を活用する
- 5 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する
- 6 「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する
- 7 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれる量を購入する
- 8 商品棚の手前に並ぶ賞味期限の近い商品を購入する
- 9 飲食店等で注文し過ぎない
- 10 外食時には、小盛りメニュー等希望に沿った量で料理を提供する店舗を選ぶ
- 11 その他（ ）
- 12 取り組んでいることはない

問29

問30 あなた自身の現在の食生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて変わりましたか。

(ア)～(ス)のそれぞれについて、この中から1つずつ選び○をつけてください。

	① 増えた・ 広がった	② 変わらない	③ 減った・ 狭まった	④ もともと ない
(ア) 栄養バランスのとれた食事				
(イ) 自宅で料理を作る回数				
(ウ) 自宅で食事を食べる回数				
(エ) 家族で食事を食べる回数				
(オ) オンラインを利用して家族や友人と食事を共にすること				
(カ) おいしさや楽しさなど食を通じた精神的な豊かさ				
(キ) 地場産物の購入				
(ク) 通販（オンライン）を利用した食品購入				
(ケ) 食事作りに要する時間や労力				
(コ) 食品の安全性への不安				
(サ) 安定的な食料供給への不安				
(シ) 食に関する情報の入手				
(ス) 規則正しい食生活リズム				

御協力大変ありがとうございました

旭川市食育に関するアンケート調査【別紙】

【資料2】

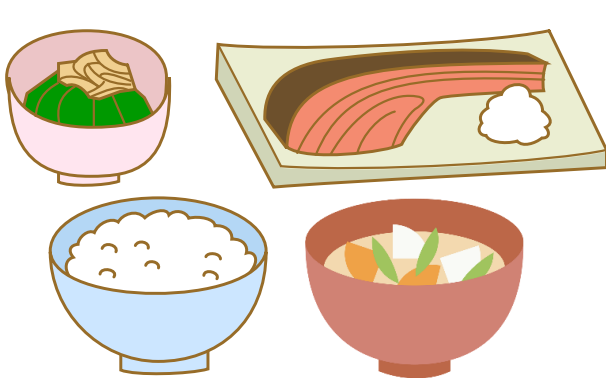
「**主食**」とは、米，パン，めん類などの穀類で，主として糖質エネルギーの供給源となるものです。

「**主菜**」とは，魚や肉，大豆製品などを使った副食の中心となる料理で，主として良質なたんぱく質，脂肪の供給源となるものです。

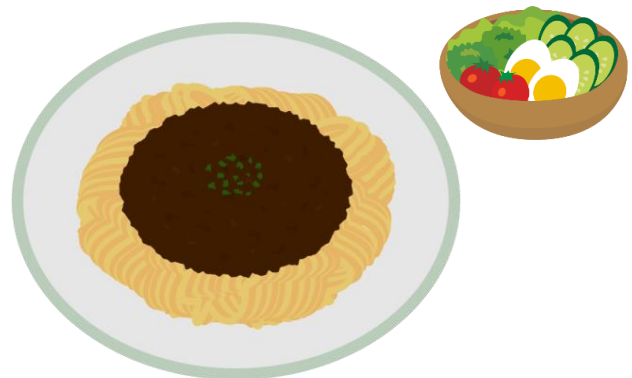
「**副菜**」とは，野菜などを使った料理で，主食と主菜に不足するビタミン，ミネラル，食物繊維などを補う重要な役割を果たしています。

以下の食事は、すべて「主食」「主菜」「副菜」を組み合わせた食事です

※「食事バランスガイド」（厚生労働省・農林水産省決定）参考



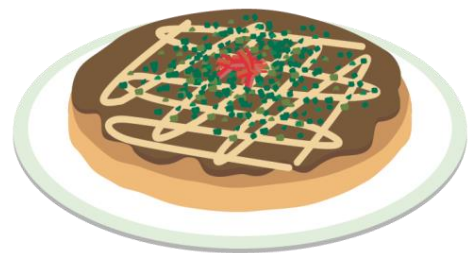
焼き魚定食



ミートソーススパゲティ
+ サラダ



親子丼



お好み焼き

※ 玉ねぎなどの野菜が50g以上